



部報

力漕

Vol. 3

WILD ROVER CREW

同志社大学ボート部

SEKISUI



屋根は、一生の財産。

屋根の専門家セキスイ屋根診断士が、
お宅様の屋根を徹底点検します。



屋根診断・葺き替えについてのお問合せは



012-012-6636

積水化学工業株式会社

住宅資材事業本部 建材事業部

電話料金は無料です。

部報 力漕

〈目 次〉

ご挨拶.....	1
寄稿.....	2
コーチングスタッフ.....	3
昨シーズンの反省.....	4
現役部員.....	5
新入部員紹介.....	17
現役部員活動報告　95年度活動内容.....	19
出漕クルー一覧.....	21
年間成績一覧.....	24
会計報告.....	41
卒業生の言葉.....	42
お知らせ.....	53
名簿　同志社艇友会会員名簿.....	54
現役名簿.....	74
編集後記.....	81

年誌刊行にあたって

《ご挨拶》

ポート部部長 岡本博公

1995年度のポートの年誌刊行にあたり、物心両面からご支援をいただいております艇友会の皆様に心からお礼を申し上げます。また、ご父母の皆さまにも何かとご協力をいただきありがとうございます。お目にかかる機会が少ないのですが、学生諸君が自主的に、規律正しく活動していることをご報告申し上げます。

全くの私事ですが、1996年度を担う新4回生の新しい体制は、私が部長になって10代目ということになります。前部長の出石先生が急逝されて、ほとんど何もわからないままにポート部長を引き受けて10年たつことになります。今でもポート競技については素人であり、部の運営もあまりよくわかつておりますが、しかし、人並みに感慨を新たにするものがあります。

勝っても負けても、全力を出し切ることに成功しても失敗しても、燃焼しきつてもあるいは思いを残しても、競技を終えた学生は、そしてそれを支えた学生は素晴らしい見えます。4回生の戸田での彼や彼女らの美しさは羨ましくさえあります。彼、彼女ら若い学生の息吹をうれしく感じることができるもの限り、私も若くいることができる、そうした場に居合わせることができるのは幸せなことだろうと思います。

この10年、たいしたことなく「おっただけ」の部長でしたが、そしてこれからも相変わらずそうかもしれません、しばらくは引き続きよろしくお願ひいたします。身勝手なことですが、私の10年目に、学生諸君が素晴らしい成果を挙げることも、もちろん祈念しています。

寄 稿

艇友会会長 小野木 伸

昨年一年間にわたり、先輩諸兄姉には物心両面のご協力を賜り、誠にありがとうございました。幹事会では常に会費、寄附金等を中心に、艇友会運営について検討協議してまいりました。会費徴収につきましては、年間300万以上を目標にしておりますが、残念ながら達成できず漸く寄附金で賄った次第です。

一方、現役においては、朝日レガッタ・関西選手権・全日本大学選手権等で健闘いたしましたが全日本大学選手権でエイトの準決勝進出、ダブルスカルの順位決定での6位の成績にとどまり、ご期待に添えず残念でした。現役は9月から次のシーズンに備えて合宿を行い練習に励んでおります。昨年12月24日瀬田川3500メートルのコースに於いて、京都大学との対校レースを行うとの案内をうけ、シーズン前の実力はいかなるものか期待して応援に赴きました。木枯らしの吹く寒い日でした。レースは終始京都大学のリードで展開し、京都大学の一日の長がみられ、敗退致しました。しかし、この試みは今までになかった新しい企画だっただけに、このロングを漕いだ経験がこれから練習にどのように生かされていくのか大いに期待しております。今年はスポーツの年と言われ、アトランタオリンピックへの道が開かれています。従来以上の練習の積み重ねによって、全日本で大いに活躍して下さい。期待しています。

又、今年1月2日の初漕会は久しぶりの小春日和の暖かい天候となり多くの艇で賑わいました。同志社からエイト2艇とフォア、スカル等参加し、私も久しぶりにエイト（エンバッハ）のBOWバ乗り込み瀬田川を往復漕ぎ、心地良い汗を流しました。先輩は高橋宗氏、四方久男氏をはじめ十数名が合宿所に集い祝杯をあげました。年初めからエイトが出せる程先輩が集ったのも、大変有りがたいことだと思っております。祝宴も盛り上がり楽しい一時を過ごしました。

申し述べました様に現役も今年こそはと積極的に練習に取り組んでおります。現役を強化していくには資金が不足しております。昨今の経済事情の悪化で出費も大変だと思いますが、昨年以上のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

今シーズンも5月上旬の朝日レガッタが幕開けとなります。レース場には例年通りテントを張つて飲み物を用意してお待ちしております。多くの諸先輩の応援を期待しております。

監督 高橋 滋

平成5年9月に横山前監督から引き継いで丸2年が経ちました。未だ成績が浮上せずOBの皆様

には大変申し訳なく思っております。

学生諸君、特に全日本学生選手権を最後のレースとする4年生の皆さんには、何とか素晴らしい想い出をつくって同志社を卒立って欲しいと思い続けているのですが、その手伝いが十分に出来ずに送り出すのが残念でなりません。

長い人生においてその人の成否を問うことは他の人にはできません。その人自身で評価することだと思います。それ故、充実した素晴らしい人生を送って欲しい。日本の将来を背負って立つような人材になって欲しい。明るくて素敵な家庭を築いて欲しい。その為に、この同志社での4年間で他では経験できないような素晴らしい経験をして欲しい。スポーツの、それもボートという狭い領域ではあるけれど、その中で頂上を極めて欲しい。ボートを通じて勝負に勝つ喜びと値打ちを知って欲しい。そんな経験を積むことで「自信」を胸に刻みこんで社会の荒波の中へ敢然と進んでいってほしい。

私はこんな思いで今部員諸君と話しています。恐らく、105年の間指導して頂いた部長先生、監督、コーチの皆様も同様に考えてこられたと思います。部員諸君の4年間での夢を実現するために自分に何ができるか、何がしてあげられるか、と自問しながら、もう1年頑張らせていただきます。

最後になりましたが、昭和63年秋以来5年間監督をされ、引き続き2年間ヘッドコーチをしていただいた横山前監督と、山口、榎原、杉山各コーチの永年のご労苦に対しまして、厚く御礼を申し上げます。

前任の監督、コーチの培われた土壌を受け継ぎ、新任の宮崎、押領司コーチと一緒に必ず花を咲かせます。

対校コーチ 宮崎 寿春

私がコーチを始めてから、もう半年になろうとしています。私はNTT関西漕艇部の現役部員で、しかもキャプテンという肩書きまでついています。おまけに、まだまだ現役でいきたいと思っています。ですから、瀬田川に浮いている連中は誰彼構わず、ぶつぶつしてやろうと日々考えているわけであります。

そんな私が、同志社大学ボート部のコーチを引き受けたのは、現役部員に強くなつてもらいたいわけでも、同志社大学が過去の栄光を取りもどすためでも、ましてや多くのOBの皆様方に喜んでいただくためでも、決してありません。只々私自身が日本一に返り咲くために自分のボートのためにコーチをしているのであります。

ですから、現役部員の皆さん、どうか私を尊敬するのではなく、せいぜいうまく利用して、いつかは『お前なんかいわしたるわい』という気持ちで日々の練習に取り組んで下さい。

また、この私のコメントを読み、怒りに肩を震わせている多くのOBの皆様方、『もうこんな奴に

わが同志社ボート部を任せておけん。』とお考えならば、どうか、コーチに名乗りを上げてください。コーチの座を巡って何人かで争うというのも同志社ボート部にとって有意義なことではないでしょうか。コーチ着任早々、これだけ生意気な口をたたく私に対する熱い熱い挑戦状を待っています。

Jr.コーチ 押領司 哲也

昨シーズンは主に4十、2×と下級生のクルーを中心に見させていただきました。彼らとの試行錯誤は新鮮であり、日に日に上達していく姿を見るのを楽しみに瀬田へ通いました。決勝レースには後一歩及びませんでしたが、あの時期に小艇で漕ぎこんだことは必ず今シーズンにつながるはずです。より一層の飛躍を期待しています。

さて、今シーズンもはや半分を過ぎようとしています。時間はありそうでないものです。今までと同じことをしていては殻を打ち破ることはできません。限られた時間のなかで、ボートへの情熱を持ち続け一本一本のオールを精一杯楽しんで下さい。そして、自分たちの可能性を信じて下さい。

この半年の間に結婚・転職と人生の転機があり、思うように合宿所へ足を運べませんでした。その分はこれからお返しします。

夏のレースを笑顔で終えられるように、皆で一皮むけてみよう。

《昨シーズンの反省》

前主将 渡辺 将常

昨シーズンは可能な限りあらゆる事に挑戦した1年であった。オフシーズンには小艇を多用し、個人のスキルアップに努めた。陸上トレーニングについても組み込めるだけ組み込んで体力アップを狙った。また、クラブバイト期間中の練習や強化合宿練習も過去3年間では最も充実していたものであったと自負している。シーズンに入ってからは定期的に京大と並べて練習を行い、常に刺激ある練習を心掛けた。振りかえる1年間は充実していたと確信している。しかしそれを結果として残すことはできなかった。

今シーズンに望むことは、昨シーズンについて何がいけなかつたのかを話し合い、そしてそれに代わるより具体的な何かを作り上げていってもらいたいということである。昨シーズンのスローガンとして「何も変わらない者は何も変えられない」とかけた。今年はそこからもう一つ具体的に、「こうならな、ここをそらせなあかん」という目標を持ち続けていってもらいたい。

《現役部員寄稿》



主将 新四回生 伊藤 浩史

先週書いて出した原稿がボツになり、急遽今2月15日シート・レースの合間を縫って書いているわけである。僕としては、寝かしてほしいわけで。

なぜ力漕にこんな、個人の抱負を載せなければならないのかと言う反論は置いといて、その抱負を書きたいと思う。

だれでもスポーツをしていれば、勝ちたいと思うのは当然である。それに向かって自分はなにをしていきたいのか、なにをすれば良いのか、これはだれもが考えることだと思う。

しかし、これが難しいもので、なかなか考え付かない。仮にこれだとひらめいて、人間飽きっぽいし、目移りが激しいものである。だから僕がここで、どんな立派な抱負を書いても1ヶ月後には、違う考えを持っているかもしれない。

だからあえて、今回は抱負を書かないことに今決めた。いつも違ったことを考えてても必ず主なるテーマは、勝つ事であるから。



主務 新四回生 中園 智英

同志社大学体育会ボート部の歴史に於いて主務の役割というものがどのように生かされるもので、強い同志社、勝てる同志社であることが出来たのだろうか？考えられるのは、漕ぎに対する飢えをいかに選手に伝え感じてもらえるかだ。それは性格上、100%期待し100%応えて欲しいと思う気持ちがあるからだ。更に自分の特性であるRadicalな面を生かして現在のボート部を変えていきたい。Radicalの意味は「急進的」という意味だが「根本的」という意味もある。故に、自分が推し進めるものは急進的かつ根本的な事だ。

それが新しい同志社のカラーを創り、進化させていくと信じ、願っている。自分は心理学を学んでいる分、内面的なものも大事にしたい。

強い者は普段の生活と練習とでめりはりが利いている。自覚というものがしっかりとしているからだ。そこで、合宿所生活における最低限のルールを守れば自分自身を束縛することはないのだ。自主性を強調する時に甘えてはいけない。自主性とは一番快いものであり一番辛いものである。練習においては尚更である。強い者は恵まれた身体と類まれなセンスを持ち含めている。しかし、本当の凄さは何よりも努力する才能を持ち合わせていることだ。同志社大学ボート部は才能集団ではなく

い。そのことをポジティブに受けとめ、努力することを惜しまない者こそが強い者になれる。

最後に「天才は有限、努力は無限」



副将 新四回生 岡 将行

ついに最終学年という檜舞台に立つわけだが、自分で1つ残念なことがある。成績云々ということではなく、入部以来考えてきた「自分とは?」という問いの答えを見つけ出せないままでいることだ。クラブにおいてのCount downもはっきり聞こえ、あと数日、数モーションしか残されていない状況になってしまったが、答えのかけらでも何でもいいからどうしても見つけ出したい。自分でこの答えが見つけられた時、必ず胸には光るもののがぶら下がっているであろう。



会計 新四回生 斎木 英人

今シーズンでいよいよ四年目を迎える。力漕に載せる原稿を考えていたら、前年度、前々年度自分が何を書いたか見ていたら、あの頃の自分を回想していた。二年ほどの月日ではあるが自分も随分変わった。乗艇モーションに対する姿勢一つをとっても昔はパーフェクトな型を求めていたが、最近は局部的な型を積み重ねていこうと考えるようになった。

残念なことに、今シーズンは選手として自分の力を発揮するのではなく、マネージャーとして自分の力を発揮していくこととなった。全く環境は変わることとなるが、三年間漕手として蓄積してきたノウハウを生かしていきたい。



学連 新四回生 奥 哲史

インカレで負けた。この事実が今年ボートに取り組む上でのすべての原点になっている。「できることならあの時と同じ状況でもう一度レースをさせてくれ…。今度は必ず勝ってみせるから!」というのが今自分の心の底にある気持ちだと思う。

今年はもちろん8+で勝負するつもりだ。そのためにも早く技術的困難を解消しなければならない。残されたチャンスは少ない。すべてをものにしてみせる。そのような貪欲な精神で臨んでいくうと思っている。

新四回生 梅野 孝雄



そんなに多くのコトを成し遂げられる程甘くない世の中だが、そんなに多くのコトを望むわけではなく、ただ今は我が部の勝利のみを目指して!

多くを語らない、オレを許してくれ。

新四回生 関根 佐和子



人に甘く接することは人に厳しくするより簡単で、人に厳しくすることも人それぞれの方法があることを理解して尊重するよりは容易であるとインカレで実感した。

ボート部マネージャーとなり、人の性格を観察し自らを振り返り学んだことは数多い。ひたすらそれらを自分の心の中で成長させても外からは分からぬ。大学時代に打ちこんできた事は?と聞かれても形に表せないが、私の財産だ。これからは、外部に表れる面も成長させできるかぎりクラブの役に立てればと思う。

新四回生 森本 周子



私達が最上回生となり6ヶ月程すぎましたが、この半年の間、色々な事を考えてきました。もちろん最上回生としてクラブを引っぱって行く事に対する不安というものもありましたが、それ以上に最上回生としての責任感や使命感をしてやる気というものもかみしめてきました。しかし、私が何よりも痛感した事は、「私がこうしてクラブを続けていられるのは皆の支えがあるからだ」という事でした。

最近私は、クラブを続けていくに当たり、今までにない程の大きな壁にぶちあたってしまいました。しばらくは誰にも相談できず、自分1人で悩み考えていました。しかし、勇気を出してまず同回の女子マネージャーに相談してみたところ、本当に私の事を理解してくれ、励ました。さらに、それだけではなく同回の男子マネージャーや、部員までもが色々と話をきいてくれ、又、理解してくれていたのでした。女子マネはともかく普段は日常会話ぐらいしか交わさない部員が何も言わなくとも分かってくれていたという事が驚きもあり、又、感動もありました。この時ほど同回の有難さが身にしみて感じられ救われた気持ちになった事はありませんでした。又、同回だけでなく後輩の支えがあってこそ頑張っていけるのだとも思います。

そして、OBの方々や、監督、コーチの方々、父兄の方々の暖かいご理解、ご協力があってこそ

同志社大学ボート部が成り立っているのだと最上回生となった今、身をもって感じることができるのです。

今まで私は「自分の為に」ボート部のマネージャーとして頑張っていました。しかし、これからは「自分の為」に加えて、自分を支えてくれている全ての人の期待を裏切らないよう頑張っていくつもりです。

今回の事で私にとっての一番は、やはりこのボート部だ、と実感するコトができました。

新四回生 尾島綾子



四回生の方々が引退され、いよいよ私達が最上回生となりました。最上回生となって、今まで見えていなかつた物事の多さに驚き、またやらねばならない物事の多さにも驚きました。それは新入部員として入部した当時の新鮮な驚きとはまた違う、何か襟を正すような新鮮な驚きでした。

「艇はマネージャーが走らせるものである」という言葉の真意が今やっと見えてきた気がしています。「マネージャーの最大の仕事は選手が漕ぎに集中できる環境を提供することである」私の中でもっと見つけ出したこのことをいつも念頭に置いて、残りの日々を選手と共に駆け抜けて行きたいと思います。

新三回生 山崎安雅



同志社大学ボート部に入部して早くも2年が経ちました。しかしながら、何も結果を出せていないことが大変悔しいです。いつまでも同じ所での足踏みはしたくないので、まずは結果を残すこと第一に考えてやっています。このことについては部全体でも同様であり、部員一丸となって目標に向かっています。今回、全体としての目標も出ており、又新コーチとしてNTT関西の宮崎さんもつかれ、より実践的な技術指導もあり一般と技術が向上すると思われます。私も含め3回生が今年の主力となるので、本当に努力し、部を引っ張っていきます。私自身も「部内敵無し」の人間になり、もう一度同志社大学ボート部を全国に魅せるため頑張りますので、OBの方々のより一層のご支援をよろしく御願いします。

新三回生 竹野内直毅



インカレが終わり四回生が去ってしまってなんだかほっとしたような、安心したような気持ちの

反面、なんだかこのボート部が色褪せた気がする。それはただ単に部のルックス（外見）の低下のせいだろうか、いやそうではない。何か内面からじみでるもののが足りなくなってしまったといった感じがする。そして、それは多分自分自身だろう。己れを信じることだ。ボートを漕ぐことは、人生においては本当に短い間である。しかし、それは僕の人生の分かれ道になりうる可能性はある。その分かれ道がいったいどこに続くのか僕にはわからない。変な道に行ってしまっているのかも知れない。でも僕はもう止まることはできない。大学生活が終わり、その道をふり返った時、僕は何を見るだろうか。

新三回生 岩田勇人



'95の関選、インカレでの経験は、私にとって革命的であった。私は秋のシーズンインとともにただの「早寝早起の合宿所住民」から、まっとうな「ボート部員」へと生まれ変わる。そして私が持つ皆無に近い可能性をわずかでも切り拓くため、近江～南郷間を彷徨い、艇庫、名神下で汗にまみれる。眠くなれば。また、腹が減っているのも問題だ。その点、合宿所の食事には満足している。本当に。心の底から。特に私が気に入っているのは、スパゲティ系や野菜いため系だ。かなりの水準だ。

探究心は貴重なものだ。また、私達はすでに、「疲労によって体力は向上する！今こそ、積極的にスポーツ疲労に強くなれ！疲労が健康の維持、向上に欠かせないことを知ることが大切なのだ！」ということを知った。

よく悩み、現在大きな迷いもない。抱負は「考えて漕ぎ、覚悟を持つ」ことである。今はこれをする。これは大事だ。

新三回生 石井宏明



スタート3分前。緊張で力が入る。相手は千葉大。マッチレースだ。予選タイムでは7秒のビハインドがあるが、絶対勝ってやろうと思った。「ヨーイ、ゴー！」もはや緊張している場合ではなく、漕ぎに集中した。レース前から「スタート勝負」と意識していた。

その目標は達成された。500mで一艇身のリード。コンスタントのスピードも勝っている。「よじっ！」と思いながら駆りまくった。だんだんと苦しくなりながらも、自分を励ましながら1500mを通過した。差は二艇身程あった。残り300mでスパートを入れた時には勝利を確信した。そしてそのまま一着でゴールした。ゴールした瞬間はとても嬉しかった。敗復だったとはいえ、平凡なタイムだったとはいえる、一位になるのは最高の気分だ。これからもっとこんな気分を味わいたい。

8月25日戸田漕艇場にて



新三国生 有馬誠生

95年の夏インカレの決勝を初めて直接自分の眼で見て、残った4クルーからすさまじいオーラのようなものを感じた。そして「自分もこの舞台で漕ぎたい」と思う反面、「今の自分にこれだけの雰囲気を出しながらレースをすることが出来るのか」とも思はせられた。やはり、インカレで決勝まで勝ち残って、その中で他のクルーと同等、もしくはそれ以上の漕ぎをするには、技術やパワーは勿論、とてつもなく鍛え抜かれた精神力が必要だろう。

三回生となるこの年、同志社大学ボート部における自分の役割と、自分の力を認識した上で、勝ちに繋がるトレーニングというものを常に考え、肉体、精神ともに決勝の場にふさわしく鍛えあげていくつもりだ。

来年の夏は、鍛え上げられた肉体と精神で戸田にのり込み、不二家レストランで祝勝会だー！？



新三国生 渋谷一郎

私がボート部に入部した動機はボートというスポーツを通して強い人間になることであった。しかし一年半近く経ってこの目標に近づいて来ているどころかむしろ遠ざかってしまっているのではないか。単調な日々の連続で目標を見失いがちになるが新チーム始動にあたって初心を再確認したい。



新三国生 土肥康治

知敵知己 百戦不危



新三国生 内藤竜一

インカレから2ヶ月。また戸田にやって来た。ここに来ると高校時代のチームメイトやボート仲間と合うことができ、とても楽しい。また、今の自分にとってボートはかけがえのないものだと改

めて感じる。しかし、そんな和んだ雰囲気も、いざコースに出ると戸田独特の緊張感に襲われる。また、関東のクルーは速いだけでなく貫禄があり圧倒される。改めて自分の力の無さを思い知らされる。これで戸田は5回目になるが、いつも感じさせられることだ。今の自分には色々な面で課題があるが、瀬田でもこの緊張感を持ち続けてモーションに取り組めればと思った。

今シーズンは、夏に向けてもう一度、ローイングというものを0から始めたいと思う。この2年間、高校の経験というものが逆に自分に甘えを生んでしまい全く進歩がなかった。

うまく、力強く、そしてかっこよく（？）、新しい同志社を築き上げるためにも、自分自身の勝負の年にしたい。

1995年10月16日 戸田にて

P.S. 変わらなきや。



新三国生 和田大輔

青い空に憧れて、白い風に包まれた。僕は決して人為的には作成し得ない瞬間を見、その興奮を胸に、今10月を迎えた。

確か、あの日は暑かった。

空から無限に降りそぞろ光の粒子が、数多くの物資を、ときには美しく、ときには醜く映し出していた……。

それは僕の中の正義とか、秩序とか道徳を全て覆した。そして、僕自身、卑小な事のように思えた。眠れぬ夜にはノスタルジーをも生んだ。好きな事が、よけいに大好きになった。いつしか見た夢は、もう見なくなってしまった。

結局、僕は自分の城を築き上げることができなかつた。みんなと助け合って1つの城をも完成し得なかつた。

僕は全く不完全な人間だし、いろんな事に関して未熟である。だけど、僕はみんなを信用しているし、助け合うことができる。そして、1つの「開花」を喜び合うことができる。



新三国生 古川顕生

自分にとってこの1年間は、ひたすら我慢の年であった。

去年の11月に脊髄分離すべり症と診断され、一時は医者にボートはやめろとまで言われたが、何件か病院を回って治ると言う医者を探し、手術を受け、1年計画で治療に専念した。春に腰と左膝の手術で1ヶ月半、夏に右膝の手術で2週間程入院した。合計3度手術台に上り、骨髓、椎間板、

膝の関節の中など、やたらと骨と骨の間に注射を打たれ、さんざん痛い思いをしたかいあってやつと体が動くようになってきた。

この1年間で体力はすっかり落ちてしまったが、ボートに対する思いは今まで以上に大きくなっている。冬には腰に入っているボルトを抜くために最後の手術が待っているが、夏までには必ずベストの状態にもっていく。

この1年間の苦しみと悔しさをバネにして、来年の夏には誰よりも強く水中を引く選手になる。

新三国生 徐 東 駿



今年もインカレが終り、4回生の先輩方が引退していかれた。去年もそうだったのだが、上の人が抜けると、なんだかとても合宿所が寂しくなったように感じる。それと共に、自分の部内での存在価値みたいなのが問われて悩んでしまうこともしばしばである。

昨シーズンの練習は本当に体を休める時がなかったので、練習中もつい明日の練習の事が頭にちらつき、結果的に練習に身が入らなかったように思える。それと共に、休みなしの為、腰の具合が一気に悪化してしまいインカレにも出場できなかった。

今は無理をせず、腰の治療に全力を注ぎ、来年のインカレには必ず出られるようにしたい。

新三国生 岡 前 秀 彦



早いもので、この部に入部して1年半が過ぎた。初めはボートのこともろくに分からずに、ただ先輩方の言われるままにやっていたが、1回生、2回生、と2シーズンを過ごしてきて、少しほぼ一つの事が分かり始めてきたように思う。

ところで、昨シーズンは自分の実力不足とクルーのメンバーの都合の為にあまり試合に出ることできず、はつきり言って悔しい思いをすることが多かった。

来シーズンは自分も3回生になる。昨年までの甘えを捨て、常に自分を追い込み、陸トレ・乗艇練習ともに自分の実力アップをはかっていきたい。そして、そうすることで少しでも部の勝利に貢献できれば幸いである。

新三国生 石 橋 欣 也



入部以来、早くも1年以上過ぎて、今の心境はどういうものかと思えば、ボート競技自体を好き

になってしまっている自分に驚かされる。ボートの練習は他のサッカーや野球といったスポーツに比べれば、同じ動作の繰り返しで精神的に苦痛な時もあるし、バランスが悪いとイライラして気分が荒んでくる。

しかし、そういういた様な辛い事もレースに出ることで報われると僕は思っている。体育会に所属し、他の一般の学生とは違う自分にただ満足することではない。レースでは集中力が高まり、アドレナリンが分泌される。あの高揚感はクセになりそうだ。レースの最中は苦しい。視界がボヤけて膝の辺りの筋肉が熱を帯びて痛い。けれどギリギリまで自分の能力を出し尽くすレースは、自分の中で何かが弾けて魂が拡大する様な感覚が味わえる。普通のレースでさえもこんなに気持ちが良いのなら、優勝する様なレースでは一体どんな感覚が味わえるのだろうか。

新三国生 中 原 輝 宣



これまで何度か試合は経験してきたが、インカレ・オッズという大きな試合を経験して改めて自分の意識がいかに素人レベルであるかを多くの面で感じた。

一つには、普段の練習ではせっかく良いイメージを持って漕ぐように努めているのに、試合になるとただがむしゃらに漕ぎまくることしか頭になく、たとえ負けたとしても自分を追い込めばそれで満足していた面もあった。やはり試合の時こそ楽に、スムーズに、淡々と漕げなくてはいけない。

とにかく同志社は年間約三試合しか出漕しないので、どうしてもこういった意識の低さや経験不足の面が出てくると思う。今後同志社に必要なのは「お花見レガッタ」や「全日本選手権」などではなく、近くの琵琶湖漕艇場で行われている「京都レガッタ」のようなレースに数多く出漕し、まずはメダルを獲る事であり、勝つクルーになる事であると思う。

新三国生 高 橋 功



94年2月に合宿入りして1年8か月が経った。私はボート部でスカルに乗って日本一のスカラになり、日本代表を目指すと意気揚々だった。しかしそんな私のもとに不幸が訪れた。入試前にはスカルに乗せてもらう事を部と契約していたのだが、実は部には私をスカルに乗せる気は全くなく、エイトの戦力としか考えていないかったのだ。私のショックは大きかった。それに追い討ちをかけるように、私はエイトに乗って腰を痛めてしまった。ボートを漕いで腰を痛めた自分が空しく、騙されたのが悔しかった。その時私はボート部に対して恨みしかなく、早くこんな所はやめたいという気持ちでいっぱいだった。インカレが終わった後、私は当時のヘッドコーチと話し合い、「来年のイ

ンカレはエイトに乗って9人でレースをし、そして勝つための練習からチームプレーを学び、それをスカルに生かすように」と言われた。私はエイトに乗ることを約束し、95年のインカレはJrの整調を漕いだ。腰が痛い時もあったが、なんとか準決勝まで漕ぎ切った。

そして95年10月、私はスカルに乗っている。久し振りに乗った時、足からブレードの端まで一つのラインとなってボートと一体化し、水の上を滑るのを感じた。昨年の9月まで私は部を憎んでいた。しかし今は同志社のブレードでスカルに乗っている。同志社大学のプレートで漕げることを誇りに思っている。今年はレースでトップを独走し、最近久しく手にしていない優勝を部にもたらし、迷惑をかけた多くの方々に償いをしたい。そして何よりもボートを楽しみ、勝ちたい。

新三国生 高 石 徹



拝啓 rower の皆様

お元気ですか。僕は心身共に元気です。さて、一年間COXをやってきましたが、難しいと思うことは何度もありました。そして春から対校に乗り、心から自分のヘボCOXさを感じていました。渡辺さんにもよく怒鳴られました。そういう全てがCOXとして最大の財産だと思っています。非常に有意義なシーズンでした。この一年、僕程財産を得られた人は他にいないだろうと思う位です。

さて、新体制になり感じていることは、COXのレベルアップ、強化が非常に大切なではないかということです。しかも現在COXは二人。かなり頑張らなあかん状態です。皆に頼りにされへんCOXは駄目やと思っています。引退まで、皆に頼りにされるCOXを目指してやっていこうと思います。今、COX程やりがいのある仕事はないと思っています。

最後になるけれど、この一年伊藤主将のもと、“俺の成長がクラブの強さを決めるんや!!”という気持ちを持って頑張っていこう。こういう気持ちがあれば、きつい時も、アカンと思った時も、きっと自分に負けずに頑張れる。僕はそう思っています。

それでは…。

H7. 10. 1

新三国生 犀川仁志



昨シーズン、ダブルスカルで朝日レガッタ、関選、インカレと出ることができ、非常に良い経験となりました。特に2000mを漕ぎ切ることの難しさを思い知らされました。

今シーズンからコーチ陣にも変化があり、装いも新たな同志社大学ボート部という雰囲気があち

こちで見られます。これも偏に、宮崎さんの鮮烈な第一印象とのギャップと、監督の部員を奪い立たせる激しいお言葉のお陰だと思います。

自分自身も、周りに迷惑をかけながらも、フォアに乗ることができ、新鮮な気持ちでモーションに臨んでいます。少しでも早く、周りに追いつきたいと焦っています。

全体的に、個人的にも、新鮮さが出ているこの状態を良い形でレースにつなげ、『インカレで優勝しようやないか、いや優勝できるで！』

新三国生 小田恭子



ボートという競技もろくに知らないまま入部した私が、もう三回生になろうとしている。入部した動機はと言うと、未知の世界に首を突っ込むことにより、今まで知らなかつた世界が開け、人の輪が広がる様な気がしたからである。入部当時、仕事をてきぱきとこなしていく先輩方を雲の上の存在の様に感じ、自分もあんな風になれるやろかと心配し、緊張しながら合宿所に通つたものである。一年半経ち、後輩もできた今は緊張のかけらも無い。殆どくつろぎに合宿所に通つている気さえする。それは、ただ先輩に言われたことをこなすだけで精一杯だった入部当時に比べ、余裕が出てきたと同時に、新鮮さが減ってきたからかも知れない。この中弛みの時期をどう乗り切るかで私の四年間は決まる様な気がする。去年の『力漕』に“充実した四年間を過ごしたい”と書いた。これは私の最終目標であり、過ぎ去つてしまつてから後悔することの無い様、残りの時間を大切に頑張るつもりである。

新三国生 植西理恵



早いもので、ボート部の一員となって一年半が経ちました。初めの頃は何もかもが新鮮で行く度にドキドキしていた合宿所でも、今ではすっかり寛げるようになり、あまりキレイとは言えない厨房にも慣れ、料理の腕も（ほんのちょっぴり）上達しました。クラブではもう3回生となり、ボート部で過ごすのもあと2年となりました。入部以来、時間が加速度をつけて速く流れていっているような気がします。きっと残りの2年間もあつと言う間に過ぎるのだろうと思うと、このままではいけないな、とあせりを感じます。マネージャーの仕事というのは、必要最小限のことだけしていれば本当にわざかなのですが、やろうと思えば無限にあると言っても過言ではありません。2年後引退する時、もっとこうすればよかったですなどと後悔したくはないので、今自分にできる最大限の事をしていきたいと思います。

《新入部員紹介》



新三回生 林田直子

時が経つのは早いもので、私も新三回生となってしまいました。ただ一生懸命やろうという意気込みだけを持って入部した私は、ボートはもちろんのこと、何もかもがわからない事だらけで、精力的に働かれる先輩方の間でうろちょろするばかりでした。あれから目まぐるしく一年半が過ぎて、少しは仕事も覚えたつもりですが、まだまだ自分は力不足で周りの方々に頼り切っています。マネージャーの仕事はボート競技そのものからかけ離れている事が多く、自分のやっている事が本当に役立っているのかと不安に思ってしまう事もあります。それでも、毎日頑張っている部員の姿やボートを目にして、ボート部に入って良かったと思い、気持ちを新たにすることが出来ます。

あと二年、ボート部にいるこの貴重な時間を大切に過ごしていこうと思います。



けり出し前

商学部 坂口 健

本当に強いクルーを作るには、クルーの中心となる人物が必要である。僕がその中心人物になつて全国の強豪に勝つことが、商セレ入学の役割を果たすことだと思う。最後に笑うのは自分だと信じて頑張り通してみせる。



工学部 牧之瀬 寛

私は、高校でもやっていましたが、ボートというスポーツを極めきれず、大学でも続けようと思いました。しかし、高校2年生から腰を痛め、今でもかなり痛いという現状です。でも、このスポーツが好きだから、完治する日があると信じて頑張るつもりです。

いつの日か、腰がなおり、ベストの状態でインカレの決勝の舞台に立ち、そしてそこで勝利を手にし、このボートというスポーツを極めたい。



文学部 寺田忠則

ボートをやりだして同じような毎日が続く。でもその分、自分が強くなっていくのを感じる。この気分をボートをやめる日まで感じ続けたい。立派な人間に囲まれて、日本一を目指して、自分も立派な人間になりたい。



工学部 和泉智彦

入部してから約半年になるけど、はじめのころは驚くことばかりだった。朝四時二十分に起き、三十分には練習が始まる。僕はこの生活が超人間的な生活だと思う。こんな生活をしている僕たちは偉いと思う。





文学部 綱 島 雄一郎

ボートは「愛という名のもとに」のように愛と友情だけでできるものではない。友情と勝利への執着心・練習の汗などがあって強くなり、思い出となるものである。でも思い出のためにやっていのでもない。それは勝つためである。



商学部 玉 置 智 雄

ボート部に入部して早くも半年がたった。一見、単純そうに見えるボートだが、実際にはその奥の深さ、難しさに苦労している。
不器用で、のみこみも遅いほうではあるが、へこたれず、大きな目標を持ってやっていきたい。



文学部 中 島 千 尋

ボート部での4年間を充実したものにするため、そして自分を成長させる何かを見つけるために、いつも前向きな姿勢を忘れず、頑張っていきたいと思います。



文学部 石 田 あづさ

入部して一年がたち、マネージャーの仕事もさることながら、部員との信頼関係がいかに大切であるかを日々実感します。同志社大学ボート部の一員であることに誇りを持ち、マネージャーとして自分なりに努力していきたいと思います。

現役部員活動報告

〈1995年度 活動報告〉

'94. 9. 20	幹部交代
'94. 10. 1	合宿所入り
10. 13	幹部交代
11. 3	学内レガッタ
11. 12～13	関西学生漕艇秋季リーグ戦（加古川レガッタ） 新二回生のみ出漕
12. 25	HEAD OF THE SETA
12. 29	納 会
'95. 1. 2	初漕ぎ
2. 11	同志社艇友会総会
	四回生送別会
2. 6～16	強化期間
2. 25	体育会祝勝会及び総会 新人賞受賞（加古川レガッタ フォア）
3. 25～4. 2	戸田合宿
4. 1～2	お花見レガッタ（於 戸田漕艇場） 対校エイトのみ出漕
4. 3～7	オリエンテーション期間 田辺校地にて新入部員の勧誘活動 兼ねて試乗会も数回行った
5. 3	朝日レガッタ（於 琵琶湖漕艇場） 水難事故のため二日目より中止
5. 13	新入生紹介バーベキュー大会
5. 28	新入生歓迎コンペ 新入部員計七名
6. 3～4	新人ナックルレガッタ（於 琵琶湖漕艇場） 一回生2クルーが出漕
6. 18	あみ定杯

同志社、京大、立命館、龍谷対校戦

- 7.28~30 關西選手権、瀬田川杯（於 琵琶湖漕艇場）
7.30 打ち上げ兼父兄会（於 あみ定）
8.20 インカレ出発
8.24~27 全日本大学選手権大会
オックスフォード盾レガッタ（於 戸田漕艇場）
8.25 關東艇友会
大会終了後、戸田にて解散
1995年 シーズン終了



Doshisha Cheer
one, two, three
Who are we?
La, la, la,
Doshisha!



出漕クルー 一覧

〈加古川レガッタ〉

(エイト)
S 山崎 安雅
7 岡崎 淳也
6 中原 輝宣
5 岩田 勇人
4 石橋 欣也
3 土肥 康治
2 石井 宏明
B 古川 順生
cox.和田 大輔

(フォア)
S 高橋 功
3 竹野内直毅
2 有馬 誠生
B 内藤 竜一
cox.高石 徹

〈お花見レガッタ〉

(エイト)
S 伊藤 浩史
7 吉野 光治
6 岡本 和彦
5 小林 賢史
4 有馬 誠生
3 押谷 菊治
2 武田 知也
B 渡辺 将常
cox.漆迫 博之

〈新人レガッタ〉

(ナックルフォア)
A : S 寺田 忠則
3 和泉 智彦
2 中園 智英
B 茂又 弘訓
cox.山川 優

〈あみ定杯〉

(Jr. エイト)
S 高橋 功
7 坂口 健
6 山崎 安雅
5 岡 将行
4 中原 輝宣
3 斎木 英人
2 奥 哲史
B 内藤 竜一
cox.梅野 孝雄

(フォア)
S 土肥 康治
3 徐 東駿
2 渋谷 一郎
B 岡前 秀彦
cox.漆迫 博之

〈朝日レガッタ〉

(対校エイト)

S 伊藤 浩史
7 吉野 光治
6 岡本 和彦
5 小林 賢史
4 有馬 誠生
3 押谷 菊治
2 武田 知也
B 渡辺 将常
cox.高石 徹

(Jr. エイト)

S 高橋 功
7 坂口 健
6 山崎 安雅
5 岡 将行
4 中原 輝宣
3 斎木 英人
2 奥 哲史
B 中園 智英
cox.梅野 孝雄

(フォア)

S 土肥 康治
3 徐 東駿
2 渋谷 一郎
B 岡前 秀彦
cox.漆迫 博之
(ダブルスカル)
S 石井 宏明
B 褴川 仁志
(スカル)
四家雄一郎
川勝 欣生

〈インカレ〉

(エイト)

S 山中 弘毅
7 吉野 光治
6 伊藤 浩史
5 小林 賢史
4 岡本 和彦
3 渡辺 将常
2 武田 知也
B 坂口 健
cox.高石 徹

(フォア)

S 奥 哲史
3 竹野内直毅
2 岩田 勇人
B 石橋 欣也
cox.和田 大輔
(ダブル)
S 石井 宏明
B 褴川 仁志

〈オッ盾〉

(エイト)

S 高橋 功
7 内藤 竜一
6 山崎 安雅
5 岡 将行
4 中原 輝宣
3 斎木 英人
2 有馬 誠生
B 押谷 菊治
cox.梅野 孝雄

〈関西選手権〉

(対校エイト)

S 山中 弘毅
7 吉野 光治
6 伊藤 浩史
5 小林 賢史
4 岡本 和彦
3 坂口 健
2 武田 知也
B 渡辺 将常
cox.高石 徹

(Jr. エイト)

S 内藤 竜一
7 中原 輝宣
6 押谷 菊治
5 有馬 誠生
4 斎木 英人
3 山崎 安雅
2 高橋 功
B 岡 将行
cox.梅野 孝雄

(フォア)

S 奥 哲史
3 竹野内直毅
2 岩田 勇人
B 石橋 欣也
cox.和田 大輔
(ダブルスカル)
A : S 石井 宏明
B : 褴川 仁志
B : S 茂又 弘訓
B : 山田 寛幸
(スカル)
四家雄一郎

(スカル)

四家雄一郎

〈瀬田川杯〉

(フォア)

S 玉置 智雄
3 寺田 忠則
2 和泉 智彦
B 鈴木 宏典
cox.中園 智英

チームウェアを作ろう!

お客様のウェアのでき上がりまで、私たち1/80のスタッフはチームの一員になったつもりで、一生懸命ウェア作りのお手伝いをします。豊富なアイテム・カラー、そして多彩なマーキング、お気に入りのウェアをぜひ作ってください。

ITEM INDEX

- ジャンパー各種
- トレーナー
- ヨットパーカ
- Tシャツ
- ポロシャツ



こんなときに

- クラブやサークルで
- クラスやゼミで
- 合宿や旅行に
- 記念品に
- 仲間たちと



CLUB GALLERY 1/80 クラブギャラリー ハチジューブンノイチ

■京都サクラ店：075-231-7484 ■心斎橋OPA店：06-258-3805
■梅田EST-1店：06-374-3473 ■神戸東急ハンズ店：078-332-0057

オリジナルの全てがわかるカタログ「VOICE」ご希望の方は上記各お店までお電話でご請求ください。

年間成績一覧

加古川レガッタ

1995年11月12・13日 於 加古川

〈新人エイト〉

(予選)	大阪工業大B	キケン
	神戸大「CORPORA」	3' 39"30
	近畿大A	② 3' 34"22
	同志社大「WILD ROVER」	① 3' 32"16

(準決勝)	大阪市立大「なみはや」	2 3' 34"95
	同志社大「WILD ROVER」	4 3' 37"81
	神戸大「TIDE」	① 3' 34"31
	関西学院B	3 3' 36"80
(優勝)	近畿大A	3' 28"10

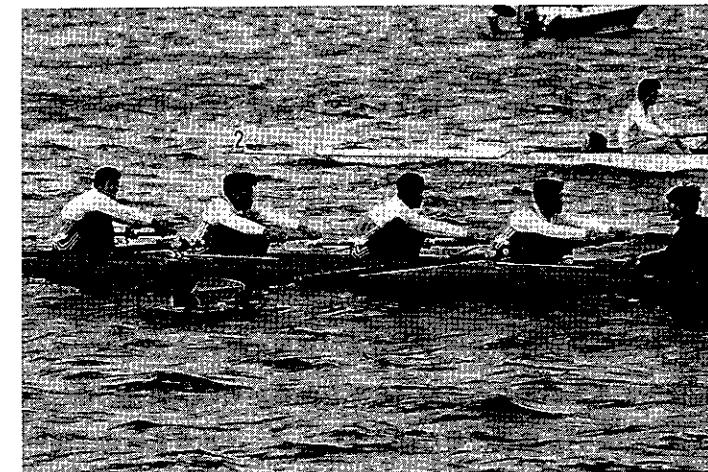
〈新人フォア〉		
(予選)	同志社大「赤い弾丸」	① 3' 43"36
	滋賀医科大「朝霧」	3 4' 14"13
	京都大「鞍馬」	② 4' 03"76
	滋賀大(経)「比良」	4 4' 32"25

(準決勝)	京大「鞍馬」	3 4' 11"73
	同志社大「赤い弾丸」	① 3' 50"04
	甲南大	2 3' 53"87

(決勝)	同志社大「赤い弾丸」	① 3' 44"78
	龍谷大A	2 3' 48"63
	大阪市立大「水都」	3 3' 52"24
	立命館大「衣笠式世」	4 3' 57"45

(優勝) 同志社大「赤い弾丸」

加古川レガッタ
優勝クルー
「赤い弾丸」



お花見レガッタ

4月1・2日 於 戸田漕艇場

〈男子エイト〉

(予選)	中央大B	1 3' 06"91
	東京大C	4 3' 28"13
	同志社大	2 3' 10"52
	成蹊大	3 3' 20"07

(準決勝)	北海道大	4 3' 12"18
	慶應大A	2 3' 10"70
	N T T 東京	1 3' 08"82
	東北大B	3 3' 12"08
	同志社大	5 3' 26"76
	一橋大C	6 3' 33"98

(順位決定)	広島大	6 3' 30"90
	明治大	4 3' 29"27
	同志社大	1 3' 21"58
	慶應大B	2 3' 23"07
	東北大D	3 3' 26"09
	一橋大C	5 3' 30"45

(優勝) N T T 東京

対校エイト4番 二回生 有馬誠生

〈お花見レガッタ感想〉

3月24日から10日間、対校の一員として戸田での強化合宿に参加した。大学からボートを始めた自分は関東のレベルが高いことは聞いていたが、じかに自分の目で見たことはなかった。しかし戸田での強化合宿においてそれが事実だということを身を持って知らされた。戸田は瀬田にはない雰囲気を持っていた。広い瀬田とは違い、狭い戸田のコースでは常に周りに他のクルーがいた。そして常に他から見られている気がし、また他のクルー全てが自分達よりうまく見えた。しかしながらその緊張感の中で行われたモーションの中で自分達が確実に変わっていくのが分かった。

お花見の結果は13位であったが、この合宿は今季を飾るためのステップでしかない。問題は戸田で得たものをきっかけとしていかに次に継げるかだろう。これからは常に瀬田も戸田も同じ時間が流れていることを意識し、更に集中してモーションに臨んでいこうと思う。

第48回朝日レガッタ

5月3・4・5・6日 於 琵琶湖漕艇場（4日より中止）

〈男子エイト〉

(予選)	神戸大	除外
	追手門学院大	4 3'30"65
	同志社大	① 3'11"44
	飛梅会	棄権
	大阪市立大	② 3'14"19
	滋賀大経済	③ 3'20"21
	弦月艇友会	5 3'35"95
	近畿大	② 3'21"25
	甲南大	③ 3'28"38
	春闘九勇会（Jr.）	① 3'19"57
	神戸商船大	4 3'30"27
	大阪府立大	6 3'36"07

〈一般男子フォア〉

(予選)	浜寺RC	① 3'41"79
	松山大	4 3'56"17

晩会

淀風艇友会	③ 3'50"45
同志社大	棄権
神戸商船大	② 3'42"73
	5 3'59"05

〈一般男子ダブルスカル〉

(予選)	同志社A	① 3'53"89
	広島修道大	4 3'58"99
	海邦3号	③ 3'57"95
	京都大濃青会	6 4'32"30
	京阪電鉄	② 3'55"38
	修漕会	5 4'13"39

〈一般男子シングルスカル〉

(予選)	松井（松江RC）	2 3'49"60
	白根（徳島大B）	4 4'09"35
	高松（大阪工大C）	5 4'39"90
	屋良（京都教育大）	棄権
	四家（同志社大A）	1 3'45"32
	寺井（米子漕艇ク）	3 3'51"35
	小島（京阪電鉄）	棄権
	川勝（同志社大B）	5 4'10"39
	目黒（石楠花エルRC）	3 4'01"99
	武田（愛媛大）	1 3'39"99
	郡（香川大）	4 4'02"38
	山本（浜寺RC）	2 4'00"25

対校エイト7番 四回生 吉野光治

〈朝日レガッタ感想〉

今年の朝日は一人の人間の生命の重さを改めて考えさせた。伝統のある大会も一人の生命の前では無に等しい。当然のことではあるが、そんな当たり前のこと改めて教えてくれた今年の朝日は自分の記憶に忘れられないものとして残るだろう。ご冥福をお祈りいたします。

予選では最高のスタートを切り、途中足蹴りで今ひとつ伸びなかつたものの、危なげなく1位であがり、調子が良かつただけに残念であるが仕方ない。今年は全日にも出ないと決まり、関選までかなりの期間レースから遠ざかることになるが、その間「どれだけレースを想定した練習が出来るか」が課題となる。

ダブルスカルBOW 二回生 裏川 仁志

〈朝日レガッタ・感想〉

レースの前日は監督とOBの木村先輩に有難い激励のお言葉を頂き異様な盛り上がりを見せ、まるで宴会の延長のようであった。しかし、レース当日は独特の静かな雰囲気に包まれており、前日とは全く違うものであった。それが、新人レガッタ以来しばらく乗艇せずにシット・アップと車止めばかりしていた自分をより緊張させた。

けり出しをしてから漕艇場に行くまで様々なトラブルが起こったので、我々がスタート地点に着いた頃、他のクルーはすでに準備が整っていた。着ていたTシャツを脱ぐや否やレースはスタート。1000Mを蛇行しながらも何とか予選を突破することができた。まさに前日に監督がおっしゃられた「1000Mはあっちゅう間やからな。」であった。

実はこの後朝日レガッタは高校生女子のダブルスカルの練習中の不慮の事故により中止となった。できだ仲間が亡くなつたのでそういう訳にもいかず、複雑な気持ちのままでレガッタは幕を閉じた。



朝日レガッタ ダブルスカル

新人ナックルレガッタ

6月3・4日 於 琵琶湖漕艇場

〈男子ナックルフォア〉

(予選)	同志社大A	② 2'15"67
	神戸大E	5 2'32"38
	近畿大A	4 2'27"77
	大阪市立大D	③ 2'19"66
	滋賀大(経) D	① 2'15"33
	滋賀大(教) B	4 2'28"41
	同志社大B	③ 2'25"97
	大阪大C	5 2'30"67
	京都大D	① 2'24"38
	滋賀大(経) A	② 2'25"04
(準々決)	大阪大G	5 2'38"53
	同志社A	② 2'08"03
	神戸商船大B	① 2'07"54
	滋賀大(経) A	3 2'15"53
	大阪大E	4 2'16"04
	滋賀大(経) C	① 2'07"64
	京都大C	② 2'09"51
	近畿大C	4 2'15"82
	同志社大B	5 2'16"45
	近畿大A	3 2'12"31
(準決勝)	関西大B	6 2'20"94
	同志社大A	② 2'01"12
	神戸商船大A	① 2'00"02
	滋賀大(経) C	4 2'09"99
	追手門学院大B	3 2'01"73
	近畿大	5 2'13"18

(決勝)	京都大C	1 2'20"41
	関西学院大	5 2'33"20
	神戸商船大A	6 2'42"40
	神戸商船大B	2 2'21"42
	同志社大A	3 2'22"03
	滋賀大(教)B	4 2'23"96

(優勝) 京都大C

一回生 寺田忠則

〈新人レガッタ感想〉

ボート部に入部して合宿入りし、新人レガッタのための練習が始まりました。レースの当日、先輩達の「ナックルレースなんかお遊びや。」という言葉から、一回生は全員だれていきました。一日目が終り、予選を通過し、二日目もスムーズに準決勝を通過できました。結果、決勝で3位になりました。

たいしたレースじゃないと言われていたレースで僕は3位になれたのですが、気持ちは複雑です。自信をつけるには良いレースだったのではないかと思います。やけに残るのが山川さんの「心はアツク、頭はレイセイに。」という言葉です。1位になれなかったのは残念でしたが、3位ということでもメダルをもらえたことがうれしかったです。これを1つの経験として考えてこれからボート生活をがんばっていきます。

あみ定杯

6月18日 於 濱田川(あみ定前)

(Jr.エイト)

(優勝) 同志社大学

(フォア)

(優勝) 同志社大学

Jr.エイト 二回生 中原輝宣

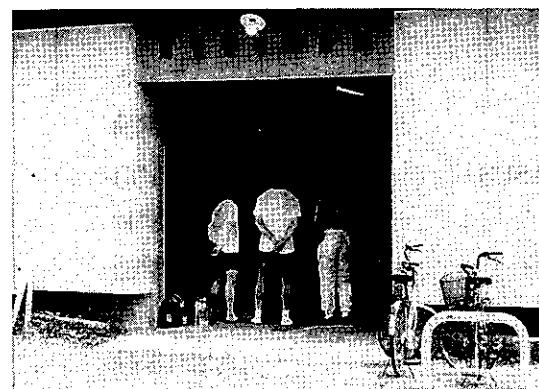
〈あみ定杯・感想〉

このレースは低ピッチながら一本一本に伸びがあり、今まで最高のレースでした。途中で大きなブイにあたり完全に艇が止まってしまうというアクシデントもありましたが、みんながコンスタントに自信を持っており、最後まで「まだいける」という意気込みがあったので、再び抜き返すことができました。これほどやっていて楽しく、また自信を持って望めたレースは今までなかったと思います。これを大きなステップとして、今後一層楽しいレースをしていきたいです。

フォア 二回生 渋谷一郎

〈あみ定杯・感想〉

朝日レガッタの後、故障者が出てまともに乗艇していなかった我々はこのレースで初めて2000Mに挑戦することになった。その日は雨が降っておりコンディションはあまり良くなかった。中盤ぐらいまで京大に1艇身出られていたが、リズムが良かったのでこの調子だったら勝てると思った。だが1500Mすぎからリズムが乱れ出した。体力は十分あるはずだったが動きが合わなくなりかなりキツかった。最後の500Mは気合いで乗り切った。早く気合ではなく技術で勝負できるようにならねばと思わずにはいられなかった。



関西選手権
レース前

関西漕艇選手権大会

7月28・29・30日 於琵琶湖漕艇場

〈男子エイト〉

(予選)	岡山大	4 4'47"34
	立命館大	3 4'42"63
	龍谷大	① 4'29"94
	同志社大	2 4'37"67

同志社大～襄～(Jr.)	5 4'49"83
京都大	② 4'39"43
名古屋大	3 4'44"54
甲南大	4 4'49"18
三洋電機滋賀	① 4'30"62

(敗復)	甲南大	4 4'58"36
------	-----	-----------

	同志社大	2 4'49"98
	名古屋大	3 4'52"16
	滋賀大経済	① 4'49"07
	同志社大～襄～	3 4'49"10
	神戸大	① 4'44"32
	大阪大	4 4'49"61
(優勝)	東レ滋賀	4'40"11
 (男子フォア)		
(予選)	同志社大B	2 5'20"34
	鳥取大医PEGASUS	3 5'21"64
	京阪電鉄	① 5'16"17
	浜寺R C	4 5'25"53
(敗復)	月ヶ瀬R C	4 6'18"78
	広島工業大	5 6'49"23
	岡山大医「天啓」	② 5'33"15
	同志社大B	① 5'30"43
	岡山大	3 5'37"69
(準決勝)	同志社大B	2 5'21"93
	京都大古豪会	5 5'38"53
	山口大「羅漢」	3 5'22"89
	中国電力	① 5'19"60
	鳥取大医PEGASUS	4 5'30"08
(優勝)	滋賀医科大「泰斗」	5'34"13
 (男子ダブルスカル)		
(予選)	大阪ガス	① 5'35"74
	同志社大B	4 6'26"43
	岐阜大「稻葉」	3 6'09"00

	瀬田漕艇クラブ	2 6'05"31
	中国電力	① 5'18"59
	金沢大	3 5'55"92
	同志社大A	除外
	長浜農高	4 5'58"06
	甲南大	② 5'49"41
	(敗復)	瀬田漕艇クラブ
		② 6'06"18
	神戸大	① 6'05"09
	金沢大	3 6'07"44
	同志社大B	4 6'19"33
	滋賀医科大	3 6'15"77
	加賀市役所・医王会	② 6'08"20
	長浜農高	4 6'27"22
	同志社大A	① 6'03"77
(準決勝)	大阪府立大	4 5'47"00
	大阪ガス	① 5'29"76
	京都高校選抜	2 5'33"54
	同志社大A	3 5'44"69
(優勝)	N T T 関西	
 (男子シングルスカル)		
(予選)	大西(膳所高)	① 5'54"34
	屋良(京都教育大A)	4 6'28"42
	四家(同志社大)	② 5'56"46
	戒谷(岡山大医)	3 6'24"73
	四手井(大阪府大A)	5 6'39"25
(準々決勝)	松本(近畿大)	4 6'29"41
	結城(京都大医)	3 6'13"97

武田（立命館大A）	① 5'43"88
四家（同志社大）	② 5'58"19
戒谷（岡山大医）	5 6'34"48

(準決勝)	小林（京都高校選抜）	3 6'04"34
	上田（N T T 関西）	① 6'01"67
	武田（立命館A）	② 6'02"02
	四家（同志社大）	4 6'13"40

ダブルスカルBOW 四回生 山 田 寛 幸

〈関西選手権・感想〉

予選ではスタートで離され、コース侵害の注意を受けつつ6位。敗復ではスタートの調子が良く途中までは勝負になっていたが、コンスタントが伸びず、またまた6位。予選・敗復落ちだった。2人ともスカルでのレースは初めてだったのでなかなかまっすぐ進めなかつたのが残念だった。

フォアBOW 二回生 石 橋 欣 也

〈関西選手権・感想〉

今まで幾つかのレースに出たが、今回の関選はかつてない程の興奮を覚えた良いレースであり、またレースだけでなくそれまでの過程も充実したものであったと思える。

予選ではスタートの遅さを思い知らされた。コンスタントで2艇抜いたが、京阪電鉄を獲らえるのは及ばなかった、敗復では水面のコンディションは最悪ながら1着で準決勝に進出できた。とにかくホッとして初日を終えた。2日目、課題のスタートをギリギリでクリアすることができた。クルーの士気も昨日よりもはるかに上がっているのがわかった。予選タイムでは他のクルーにかなり差をつけられていたがタイムは気にならず、ただスタートを成功させ1500M全力を出し尽くすことだけ念頭に置いてレースに望んだ。

結局、中国電力に敗れ2位となり、決勝に進むことはできなかった。その時の最高の力を出して負けたということは仕方ないが、悔しい。くそっ、スゲー悔しい。

〈瀬田川杯男子フォア〉

(予選)	京府医大「希望IV世」	5 6'27"54
	滋賀大教育	② 5'31"85

同志社大	4 6'16"78
神戸大B	3 5'32"79
瀬戸工高	① 5'27"31

(敗復)	同志社大	除外
	神戸大B	① 5'23"50
	月ヶ瀬RC	2 5'46"29
	広島工業大	3 5'46"29

(優勝)	膳所高	5'29"03
------	-----	---------

フォア整調 一回生 玉 置 智 雄

〈瀬田杯・感想〉

瀬田杯フォア種目に寺田、和泉、鈴木そしてCOXの中園さんと共に出艇した。大会までの練習期間、やはり艇のバランスがなかなかうまくいかなかった。何度もやつてもうまくいかなかった。大会が近づくにつれクルーの雰囲気も重くなり一時はどうなることかと思ったが、練習後のミーティングで率直に自分や人の改善すべき点を出し合うことによって、艇のバランスが少しずつ良くなりまたクルーの気持ちも高まってきた。

大会当日、前期試験と重なっていたこともありコンディションの方はベストではなかったが、レースに対する意気込みは最高潮だったように思う。しかし結果は予選落ちで上回生との実力の差を見せつけられた形となった。けれどこの試合で“一体感となってやれるボートの楽しさ”のようなものがわかったような気がします。秋、冬の練習で体力をつけ技を磨いて次の試合では“ボートの楽しさ” + “勝利の楽しさ”を味わえるように頑張っていきたい。



関西選手権 Jr. クルー

第22回全日本大学選手権競漕大会

8月24・25・26・27日 於 戸田漕艇場

〈男子エイト〉

(予選)	立命館大	5 6'28"22
	近畿大	4 6'21"36
	東京大	2 6'09"59
	中央大	① 6'06"43
	同志社大	3 6'20"42

(敗復)	滋賀大経済	4 6'29"94
	同志社大	② 6'19"56
	北海道大	① 6'15"32
	立命館大	3 6'24"75

(準決勝)	同志社大	3 6'39"10
	甲南大	4 6'48"73
	東北大	① 6'17"95
	北海道大	2 6'28"80

(決勝)	東北大	6'08"42
------	-----	---------

〈男子フォア〉

(予選)	徳島大	5 7'32"19
	同志社大	2 7'14"64
	北海学園大	3 7'19"34
	日本医科大	4 7'23"96
	日本大	① 6'59"31

(敗復)	南山大	3 7'27"54
	東京都立大	① 7'02"51
	同志社大	4 7'04"77
	静岡大	4 7'30"81

(優勝)	日本体育大	6'45"60
------	-------	---------

〈男子ダブルスカル〉

(予選)	筑波大	2 7'17"14
	同志社大	4 7'35"10
	石巻専修大	① 7'16"59
	早稲田大	3 7'29"68

(敗復)	千葉大	2 7'51"60
	名古屋工業大	棄権
	同志社大	① 7'46"41

(準決勝)	日本体育大	① 6'55"12
	同志社大	4 7'46"92
	中央大	2 6'56"70
	東京医科歯科大	3 7'13"73

(優勝)	日本大	6'44"17
------	-----	---------

〈男子シングルスカル〉

(予選)	平沢(東京医科歯科大)	4 8'27"25
	猪熊(松山大)	5 8'35"13
	藤沢(東京水産大)	3 8'02"15
	四家(同志社大)	2 7'57"69
	清水(東京大)	① 7'49"38

(敗復)	渡辺(名城大)	4 9'23"67
	太田(長崎大)	2 8'18"28
	四家(同志社大)	① 8'08"56
	平沢(東京医科歯学大)	3 8'34"00

(準決勝)	長谷川(新潟大)	3 7'52"52
	石黒(名古屋工業大)	5 8'08"77
	四家(同志社大)	4 8'03"21
	後藤(東京都立大)	2 7'48"63
	小川(早稲田大)	① 7'40"60

(高木(関西大))	6 8'27"47
-----------	-----------

(優勝)

長谷 (日本大)

6'59"98

対校エイト 3番 四回生 渡辺 将 常

〈インカレレース展開・予選〉

スタートからスパートへの流れがよく、500Mまで中央と並びながらレースは展開していった。しかし、コンスタントにおけるワンストロークの艇速の違いから徐々に水が開き始めた。その後、東大にも離されそのまま3位でゴール。レースの作戦は成功し、ミスはなかった内容であったが、コンスタントの力の差が明らかに表れたレースであった。

〈インカレレース展開・敗復〉

スタートで出遅れ、北大について行くという展開であった。コンスタントに入ってからもなかなか差が縮まらず、いつしか先行する北大よりも追ってくる滋賀経の方に意識が集中していった。関選で滋賀経にさされて敗れた思い出が不安材料として心にあったからだ。1000M過ぎからは北大を追うというより滋賀経から逃げるという意識で私は漕いでいた。

結局2位でゴールした。滋賀経につめよられることもなく、関選から確実に成長したことを実感したレースであった。

〈インカレレース展開・準決勝〉

スタートの失敗をなくせば勝利があると誰もが確信していた。東北は抜群のスピードでスタートから他を離した。侮やまれるのは同志社2レーン、北大5レーンでレーンが最も離れていたことである。北大と半艇身差のまま500~1000Mを漕いでいたが、レーンが離れていたため選手がここだという勝負所が意識できなかった。相手との差を実感できぬままズルズルと離されるというより離れていってしまったというレースであった。敗復の反省は生かせたが、本当にもう一步のレースであった。

シングルスカル 四回生 四家 雄一

〈インカレレース展開・予選〉

天候晴れ。スタートを失敗してしまい、500Mまで東大に水を開けられる。残り500Mで1位との差をつめるが、2着でゴール。

〈インカレレース展開・敗復〉

天候晴れ。またしてもスタートで失敗。500Mまで並ばれていたが、その後は徐々に差を広げて2位に3艇身あけ1着でゴール。

〈インカレレース展開・準決勝〉

天候晴れ。スタートはうまくいくが、スパートで前に出られてしまう。最後まで差を縮めることができず、結局4着でゴール。

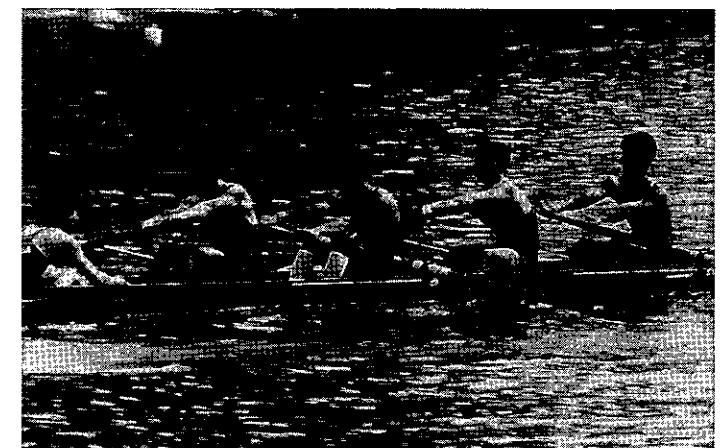
〈インカレレース感想〉

戸田入りする直前まで、前々から不安を抱いていた膝の調子は良くなかった。2000Mのレースで最後まで足がうまく動くか心配だったが、最後のレースまで足は順調に蹴り続けることができ、自分なりに全力を出したという点では満足している。

最終的には準決勝敗退と、またしても結果を出すことができず悔しさは残るが、いつまでも心に焼きついているであろう良い試合だったと思う。



インカレ
対校エイト



インカレ
対校フォア

第35回オックスフォード盾レガッタ

8月26・27日 於 戸田漕艇場

(エイト)

(予選)	慶應義塾大C	5 7'04"49
	成蹊大A	4 6'37"39
	東京大	3 6'30"51
	鉄っ子	① 6'17"51
	同志社大	2 6'20"82

(敗復)	庄内川クラブ	4 7'39"59
	大阪大	2 6'56"88
	同志社大	① 6'53"46
	小樽商科大	3 7'17"01
(準決勝)	東北大B	4 6'24"85
	島根大	3 6'24"06
	早稲田大A	2 6'20"92
	東北大A	① 6'17"91
	同志社大	5 6'25"68

(優勝)	NTT東京	6'00"78
------	-------	---------

Jr.エイト 四回生 押谷 菊治

(オッ盾レース展開・準決勝)

準決勝は社会人クルーではなく、東北2艇・早大・島根・同志社という学生クルーのみでのレースであった。予選の段階で東北大Aに10秒、早大に8秒の差をつけられており、正念場のつもりでレースに臨んだ。スタートは互角だったが、予選のタイム差が示す通りじわりじわりと突き離されゴール。

会計報告

1995年度収支決算書

支 出		収 入	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
維持費	3,338,712	前期繰越金	7,349
医療費	22,830	学友会預託金	1,052,000
遠征費	2,460,713	部費	149,100
合宿費	9,851,407	入部金	27,000
記念費	233,880	特別収入	3,872,847
分担金支出	88,500	補助金	270,000
交通費	163,313	受取利息	722
試合費	548,400	個人負担金	12,256,900
事務費	16,679	寄附金	3,000,000
什器備品費	1,573,889		
消耗品費	145,328		
情報宣費	118,120		
資料費	99,015		
通信費	518,856		
特別支出	80,336		
用具購入費	1,031,988		
連盟費	82,200		
練習費	143,266		
事業費	99,745		
次期繰越金	18,741		
合計	20,635,918	合計	20,635,918

卒業生のことば



前主将 渡辺 将常

私がボートに求めたもの、それは自己満足という主觀による喜びではなく、客觀によって与えられる称賛という喜びであった。つまり優勝である。この思い出のない4年間を振り返る時、そこには執拗にせつなさがまとわり付いてくる。言い表すことも消すこともできないせつなさが。これはきっと私の中でボートというものが消化しきれていない証拠なのであろう。「体験と経験の相違」という言葉がある。人間が生きていれば物理的に増大していくものが体験であり、その膨大な体験の中から己の未来の思想と成り得たものだけを経験と呼ぶという意味である。つまり、このせつなさに答えが出せたときこそ、私にとって4年間が貴重な経験となったと言える瞬間なのであろう。

その時まではもう少し時間が必要である。もっと深くボートについて悩む必要がある。夢で終わつたことがそうさせるのか、それとも貴重な経験したいがためなのか。いずれにせよ、私はボートについて悩み考えていくつもりである。

最後だが、同回の皆に心からお礼を言いたい。特に最後の1年間、主将としての自分についてきてくれて、本当にありがとうございます。感謝しています。

前主務 山川 優



ボートというスポーツは過酷だ。強い肉体と精神を費さなければならぬ上に、勝者と敗者の力の差が明確に現れる。やはり、インカレで勝つためには戸田に行ってから危機感を持つのは遅すぎる。それまでの練習において危機感を持ち、戸田に着いてからは自信を持ってむしろ楽観的に漕ぎるようにしなければならない。どうか、現役生のみんなはこれを心に止め、自分の可能性の限界に挑戦して下さい。特に新4回生は、長いようで短いラストシーズンに良い結果を残せるよう部を頑張って率いて下さい。

最後に、主務として精一杯頑張ったつもりでしたが、力の及ばなかった点がたくさんあり結果を残せませんでした。しかし、ボート部での4年間ほど大きな経験を積める場所はないと思います。これからも辛い時期があると思いますが、どうか4年間この部に居続けて下さい。

You are GREAT, Thank you !

前副将 山中 弘毅



ボートは10年漕がないと一流にはなれない。単純なスポーツであるからこそとも奥が深く難しいスポーツある。自分は7年間生活の中心をボートにしてきたのだが、自分の満足のいく漕ぎはできなかっただし、満足のいく結果もだせなかっただ。ボートという競技はレースで勝たないと何も報われないと言っても過言ではないと思う。勝って初めて楽しいスポーツである。だからこの勝つ喜びを味わうには何が必要であるか?自分が7年間ボートを漕いで思ったことが2つある。1つは楽しく練習しないと上達しないということである。苦しい中にも楽しさをもって練習するべきである。2つ目は考えて漕ぐということである。常に自分の今の漕ぎを感じ、どのようにしたら上達するのかを考え一本一本大事に漕ぐということである。といつても自分もよく手を抜いていたのだが…。この2つのことはボートだけに限ったことではなく、全てのことに共通すると思う。これから自分は社会の一員になるのだが、このボートを通じて得たことを生かしたいと思う。社会へ出て一會社の一社員となるのだが、サラリーマンになるからにはやはり社長を目指したい。30年後に乞う御期待。

木原 聰



私の四年間近い大学生活を振り返ってみてそれがどれほど充実したものであり、また自分がボート部の御陰で如何に成長できたかという気持ちに、今しみじみと浸っています。

始まりは確か、何か最後までやれるようなものが欲しくて入部したと思いますが、当初はそのあまりにも奇異な生活に戸惑っていました。しかし結局こうして無事引退するようなところまできましたのも、先輩、後輩、そして誰より同じ時期を共有してきた同輩の仲間達の御陰だと思います。楽しいこともあり、もちろん苦しい時期もあったのですが、そんな様々な出来事の一つ一つを仲間達と分かり合えたことに、自信と誇りを持っています。

最後の一年間というものは、選手からマネージャーへと変わったことで、またそれまでと違った自分の発見と、部が目指すものがより堅固に見えました。それは、正に川のようなもので、毎年同志社大学ボート部という川を形成して流れる学生は違っても、川の目指すものは、勝利という大海であると思ったのです。かなりクサイですが、まあ何より同じボート部が好きな連中が集まっているのですから、必ず大海は見えると信じて下さい。自分でも何が言いたいのか段々わからなくなりましたが、最後に皆さんに言いたいのは、「ありがとう」という言葉です。それではまた何時かのんびり川を見に来ます。



副務・学連 白田圭助

1996年8月26日ボート部の四年間が終わった。久し振りに涙が出た事を覚えている。それは去年のような悔し涙ではなかった。ただ勝つ事だけをひたすらに求め続けた自分に対しての決別の気持のあらわれだった気がする。4年間目標はただ一つ、勝つ事だった。その目標達成にむけて、努力したのだ。とても大変だったけれども、生きている事を強く実感できた充実した日々であった。また、雑用、対校、ジュニア、副務、学連とボート部員としてこれ以上ないくらい色々な立場に立つ機会に恵まれ、それに伴って様々な経験と勉強をさせてもらった。決して艇は当事者だけでは走らないのだ。

インカレ優勝を夢見て入部した自分にとって、ボート部4年間の結果は決して納得ゆくものではなかった。このことは一生悔やまれ続けることと思う。しかし勝つことを望み挑戦し続けた自分には誇りを持って生きてゆきたい。そしてこれからも目標達成のためにしゃにむに努力して、そして最終的に勝てる人間になりたいと思う。

ありがとう、同志社大学ボート部。



トレーナー 川 勝 兴 生

思えばこの4年間、私は本当に好き放題にやらせて頂いたと思う。本当に貴重な4年間だった。振り返ってみれば、自分なりに精一杯やったと思う半面、怪我に悩まされ、選手としても、トレーナーとしても中途半端に終わってしまった自分を悔しく、そして申し訳なく思う。

現役諸君には、自己管理をしっかりと、怪我のないように頑張ってほしい。怪我をしても、無理をするのは本当に最後の最後でいい。それまでは治療に専念すること、それが自分の為にも、部の為にもなるだろう。チャンスは絶対にある。それまでは諦めずに粘り強く努力を重ねてほしい。応援して私が4年間、一度も味わうことができなかつた勝利の喜びを存分に味わってほしい。応援しています。

最後に、私のボート部での生活の中でお世話になった方々、特に先輩方、後輩達、岡本先生、両親に感謝しています。そして何より、最高の4年間を共に過ごすことができた同回生の皆へ心からありがとうございます。



漆迫博之

入部してから引退するまでの約3年半のボート部の生活が終わった。引退した今、一つ一つの試合を思い返してみると、かなり長い道のりだった気がする。今でもはっきりと、当時の雰囲気まで思い出せる程、強烈に印象に残っている試合もあれば、やはり思い出したくない試合もある。艇が進んで、試合に対して自信が持てていた時などは、本当に時間が過ぎるのも早かったし練習も楽しかった。又逆に、調子が出なかった時には、すごく練習などが長く感じられた。何をしても勝てる気がしなかった時もあった。よく試合前の練習などのミーティングで「常に自信を持っていこう」という事をそれぞれ言っていた。しかし、調子が良い時には、言われなくとも自信などはいくらでも沸いて来た。しかし、艇が進んでいない時などは、いくら意識しても自信は出てこなかった。勝つ意欲だけが増してそれを自信に置き換えたりもしていた。本当に自信を持つ事の難しさを痛感させられ、4年間のボート部での生活で、これが自分にとって一番の課題だったと思う。

この部に入部して合宿生活をしていく上で、本当に今までない色々な経験をさせてもらったと思う。楽しかった事、辛かった事、悔しかった事など数え切れない程あるが、これらの経験を今後に生かして、後々にも続けて良かったと言える様にしていきたい。



吉野光治

これがボート部で書く最後の文章となる。やはりボートについて書くべきなのだろうが、それは皆が書いてくれるだろうし、また試合のこととなると悔しいことばかりで愚痴っぽくなるような気がするのでやめておく。そこで、俺が最近感銘を受けた人物の話をしたいと思う。

俺の知り合いの人で32歳の主婦の方が、今年再び大学受験をされるという。美大を卒業されたのだが建築関係の資格を取りたいということで決心されたそうだ。俺も大学で年輩の方を何人か見たことがあるので決して珍しいことではないと思うが、これから卒業しようとしている俺にとってはちょっとしたショックであった。30歳を過ぎ再び勉強をしようとしている人に比べ、俺は何のために大学に来たのか、どれだけ本気で勉強してきたのか、この4年間は俺にとってどれ程の意味があったのか。そう考えると恥ずかしい限りである。聞く所によると、彼女は英語も話せ資格も幾つか持つておられる上にピアノや花も教えられるという。無趣味で特に特技もない俺から見れば何でもできて羨ましい限りだが、今再び新たな可能性を見つけるべく挑戦しておられる彼女はますます若くなっているように見える。俺も今まで一生懸命に生きてきたつもりであったが、この人にはもっと貪欲に新しいことに挑戦すること、そしてもっと真剣に生きることを教えられたような気がする。ボートにおいてもそうだ。俺達には「～したつもり」という言葉が多すぎた。もっと、もつ

と」というこの言葉こそが必要だったのかもしれない。

自分の考えに影響を与えてくれる人物に出会えることは素晴らしいことだ。若い内にそのような人物にたくさん出会えることは幸運なことだと思う。しかし、社会人になっても人から影響されてばかりでは情けない。自分の信念をしっかりと持ちそのビジョンに従い堂々と真剣に生きていくべき、人を羨むことなどない確固たる自分自身の世界を切り開いていくことが出来ると俺は信じている。そんな男に俺はなりたい。

偉人たちは偉人たちと決意する意志力によって偉大になる。

ード・ゴールー



岡本和彦

「同志社大が一く、対校エイトの一、勝利を期して一、同志社チア、ワン、ツー、スリー、Who are we, LaLaLa, Doshisha, One Two Three.」

仲間の心強い声援を受けて、レース50分前に出艇する。ウォーミングアップで川上に向かって漕いでいくに従い、船台の人の姿が小さくなっていく。

漕艇場の横に来ると、同志社4十のレースが見えたりする。ここにきて一層緊張が高まる。スタジオを軽くする。レース前のスタジオは、大体納得のいくものが出来るらしい。

自分達のレースより2つくらい前のレースになると岸に近づき、クルーの全ての荷物をユーチューブに投げ渡す。この時にクルーの意識の再確認がなされる。

「レースナンバー25、スタート5分前」

各艇がスタート地点に集まる。

「同志社大学来ました」

クルーはコックスの声に耳を傾け、自艇に集中しようと努めるが、周りの艇が気になる時もある。両サイドの艇を見る。自分達より体格の良いクルーがいると少し弱気になる。

と同時に、これまでやってきた練習と、クルーの結束を信じて漕けば負けるはずがない、という思いも湧いてくる。そういう心の揺れを安定させるかのようにお互いが声をかけ合う。

「スタート3分前」

クルー間で、コックスを中心に、リラックスと集中を高める声がかけ合わされる。この時に周りが気になって、キヨロキヨロしているようでは、絶対に勝ち目はない。自分達の漕ぎをして、自分達のベストを出すことが勝利するための最低条件となるからだ。

「同志社大学20センチ前」

「ありがとう」

「各艇方向を定めなさい」

「ありがとう」

来る。この瞬間が最も緊張の高まる時だ。1本目、コックスの声に即反応することだけを考える。

「スタートよい、同志社大学いいか、よい、Go」

こんな事を考えながら、1995年、12月17日、パジャマ姿のまま、横になりながら、ボーッと笑つていいともを見ている今。自分。



武田知也

部を離れ、初めて気づく事が多い。それらは本当にちょっとした事ばかりだが、例えば、朝起きてもMotionがないこと、自宅から学校に通うこと、6時に帰らなくてもいいこと等である。常に部員であった頃の生活と比べてしまう。その度に、部での3年半が確実に遠くなるのを感じる。現在の生活には納得しているが、今の生活がとても色あせて見え、たった1ヶ月前の生活がとても輝いて見える。

この3年半は突然私のもとに飛び込み、そして突然去っていった3年半である。まるで台風のようで、何だかすごいものだった。

一体私はこの間に何を学んだのだろう。

一つ大きく私の中で残っている教訓がある。「始まりは必ず終わりにつながっている。」漠然としているが、つまり、「入部すれば引退を迎える」「どんな辛い練習でも、始まれば確実に終わりがくる」「2000mという距離でもスタートしてしまえば刻々とゴールに近づき、それは止めようがなく、どんなに手を抜こうとも、懸命にやろうともゴールは必ずくる」ということである。だから、今を一生懸命に生き、漕がないといけないと本当に実感した。辛いと思った時は、後悔しても結果は絶対に変わらない。もっと今を頑張ろう」と繰り返したものだ。言うのはたやすいが、ボートを漕いできた人間はこうした事を実感していると思う。ボートとはそれほど難しいスポーツなのだろう。自己の内面の葛藤を常に繰り返すスポーツなのだろうと思う。

「後悔したくない」そのひと思いつから最後のシーズンは漕ぎ続けた。自分の声によってクルーが変わることを信じ声を出し続けた。そして、ついに最後のレースが終わり、もう出力はないと思った。しかしミーティングでの私の思いはとても複雑なものだった。ついに終わったというさびしさ、やるべき事はやったという思い、と同時に、それに矛盾する「あの時こうすれば…。もっと駆けたのでは…」という思いだった。最後のこの思いから、私は社会に出て、もう一度自己の可能性に懸けてみたい。そして、今度こそ勝利者となりたい。

正直言ってこの3年半はとても辛かった。しかし、終わってみるととても幸せな日々だった。やはり、幸せは辛さとのコントラストで感じるものだと思う。その点でボートはとてもいいスポーツだと確信している。残る部員の皆さん、是非最後まで漕ぎ切り、幸せを手に入れて下さい。OBの

方々、コーチ、マネージャー、部員の皆さん大変お世話になりました。



山田 寛幸

最後の夏、私は陸から応援していました。自分で漕がないレースは寂しく、悔しいものでした。振り返ってみると、この3年半の年月は短かったようにも感じます。特に最後の半年は怪我をしていましたが、それまでとは比べものにならないくらい早く過ぎていきました。そしてこの半年は、これまで見えなかつたものが見えるようになり、考えの及ばなかつたことを考えるようになったという点でそれまでとは違うものでした。レースに出られない状態になって、これまで自分では一生懸命やってきたと思っていたことでも後悔の残るものに思えました。また、ボート部は選手達だけのものではなく、それを支えてくれている人たちを含めて一つのクラブとして成り立っていることを実感しました。

怪我をしたことでなんとなくレースから離れ、何の恩返しもできないまま引退することになってしまいとても残念です。同志社大学ボート部はとても温かいクラブでした。

ボート部に入ってよかったです。どうもありがとうございました。



小林 賢史

クラブが終わり、現在一般の生活をしてみて、実に毎日が暇に感じている。今までの生活とあまりにもかけ離れた毎日の為、多少戸惑っている部分もある。でも、あまりにも時間があり過ぎるため、却って何をしていいのか分からぬ状況だ。もう四時半に起きる生活は二度とないだろうし、やれと言われても嫌だが、この暇な生活を四年間続けるよりは良かったかな、と思っている。

思えば一回生の四月に、先輩に勧誘されたのが入部のきっかけで、何かのサークルにでも入って、のんびり大学生活を送るつもりだった。それがなぜこのクラブを選び、四年間続けたのかと思うと、今だによく分からない。一回生の冬の時期などは、どうしてこれほどおもしろくないスポーツを毎日、朝から晩までやっているのだろうと思ったし、野球やラグビーのように個人技を生かせるスポーツと違い、勝たなければ何の喜びも得られないボートの何が魅力なのだろうと思っていた。それでも新入生の勧誘の時には、「水の上をすべる感覚」とか、「すごいスピード感」などといった、自分でも滅多に感じられない事を歌い文句にして、言葉巧みに入部させていた。これで騙された部員も多いだろう。とにかく、それまでの自分は、ボートの楽しさをあまり感じないまま過ごしてきた。

しかし、四回生の今年は、少し違った。最上回という自覚もあったが、対校の五番という重要なポジションを任され、自分が艇を動かしている。という自信を持てた。そして、どうしたらうまく

漕げるか、ということも毎日考えていた。自分で言うのも変だが、だんだん漕ぐのがうまくなり、それに比例してボートが好きになってきた。インカレの打上げで言った、社会人でもボートを続けたいというのは、今やめるのはもったいない、絶対にもっとうまくなれると思えたから言ったわけで、その気持ちちは今も変わっていない。

この原稿を書いている前日に、四回生人と、他大学のボート部員数人で飲みに行ったが、やはり話の中心はレースの時の事など、ボートの話ばかりである。数年経つてまた元の部員たちと話をする時も、やはりボートの話が出てくるだろう。この四年間は、自分ではとても長かったと感じている。でも、長かったからこそ、いろいろな経験をした。月並みだが、この四年間は決して忘れないだろう。そしてできることなら、もう一度あの戸田でエイトを漕ぎたい、そう思っている。



四家 雄一郎

ボート部での足かけ4年の生活を今振り返ると感慨深いものがある。辛かったモーション、楽しい仲間達、おいしい食事、冬の早朝の寒さ、そして、レース。どれをとっても私が死ぬまで良い思い出、すばらしい経験として心に残るだろう。

合宿所の生活は楽しいこともたくさんあったが、自分の中にある種の違和感のようなものが内在していたのも事実だ。自分はボートに向いていないのではないか、合宿所でのストイックな生活は肌に合わないのではないか、など悩んだときもあった。しかし今にして思うと、このような違和感は自分が強く成長するためには必要なものだったと感じている。

真珠貝は貝殻の内側に入った砂くずが痛いため、それを包む成分を出しているうちに真珠を作り、詩人は自分の心の痛みをもととして詩を作るという。貝にとって砂くずは異物である。それが貝にとって違和感なのだ。しかしそれがもととなって美しい真珠が形成されるのである。人の心も同じだ。強い違和感は人間形成の過程で心の糧となりうる。その意味では私は辛かった合宿所生活にとても感謝している。

そして、同回生のみんなにお礼を言いたい。私が4年間ボートを続けることができたのはみんなのおかげです。どうもありがとうございます。

最後に、私が好きだった詩を現役の皆さんに送り、私のメッセージとします。がんばってください。

目標は美である。愛である。完全である。

天にとどかないでも

大きな杉は天を目指して進む

我らも天を目指して進むのだ。

天は遠い、我らの歩ける所は短い。

それでもいいのである。

天を目指して進むのである。

個々が生きてすべてが生きる道である。

自分の自画像は

白骨となつても

天を目指して進むのである。

武者小路実篤



押谷菊治

インカレ決勝を岸から見た。やはり身体のキレが違う。まさに監督が前回の力漕で言っておられた通り、エルゴを8分20秒 just 程度で回さないと決勝進出はないということが見て感じられた。最高の舞台で勝とうというものに力のないものはいない。部が伸びなかつたのはシーズンを通してパワーがないという明確な弱点を明らかにしなかつたからだといえる。8分20秒より早くエルゴを回すということは簡単ではない。しかしクラブの全員が共通の認識をもって練習に取り組めていたら達成できていたかもしれない。なにはともあれ、現役生には健全に楽しく思いきりボートに取り組んで欲しいと思う。



柳田由美子

ボート部を引退した今、私の大学生活はボート部づけだった、と改めて思います。過去を振り返った時、苦しい事は思ひださず楽しい事だけ思ひだす、とよく言われてますが今はまだ楽しかった事よりつらかった事の方が思い出になっています。この中では書ききれないほど、このクラブで様々な経験をしました。そのいろいろな経験の中でも、「審判免許の取得」は私のクラブに対する気もちをかえたように思えます。具体的に「何が」とは書けませんが、私が最後までクラブを続けよう、と決意したのは「審判」という仕事を始めてからです。

クラブ生活で最後の1年間はとても充実していました。私が1回生の頃から思い続けてきたことを実行できた、ということです。それは些細なことだったかもしれません、私は満足です。やり残した事や後悔することはありません。

最後になりましたが、私が自信を失して悩んでた際、助言して下さった先輩方、ありがとうございました。

高橋彩

ボート部での4年間を終えて、私は今、心地良い充実感に浸っています。実際、同志社大学ボート部に所属したのは4年間でしたが、私の意識の中にはそれ以上の年月と共に、ボート部は、自分を形成する一部分を占めているのかもしれません。ボート部で私は本当に様々な事を経験し、また悩んだと思います。これらの事は、自分の中だけにしまっておきますが、その経験やそこで得た精神力は、今後の自分の生き方の中で必ずプラスになるものだと確信しています。楽しいことはもちろんだけれども、苦しいこと、辛いこと、悲しいこと、これらの方がより自分を成長させるのに必要な素材となるはずです。私自身、4月からの全く新しい環境に対して、不安を感じていますが、それよりもそこで自分を高めたいという希望や期待を大きく持っています。そして、今まで以上に幸せを感じられる自分になりたいと思っています。

4年間ありがとうございました。私と関わって下さった全ての方々に感謝します。



生水真理

ボート部で過ごした4年間は、私にとっての宝物です。それはマネージャーとしてだけではなく、もっと広い範囲で感じられる事だと思います。もちろん、役割としてはマネージャーという位置について、部内・部外の仕事をやらせてもらいとても充実していました。けれど、3回生の夏から、私にとってのクラブは単なる仕事をする所でなく、それまでよりさらに大切な場所になりました。

休部した2ヶ月間と両親にウソをついてクラブに来ていた10ヶ月間は、精神的に苦しくて辛い時間でした。でも、そんなウソをついているうしろめたさや不安を忘れられるのがこの合宿所でした。時々、「どうしてこの部がこんなに大切なんだろう」と不思議に思う事もありました。もちろん、3年も続けたんだからここでやめるなんて…という、ただそれだけの思いもありました。けれど、それだけの思いならもうとっくに私はここにいないと思います。私は、みんなと離れて本当に淋しくて辛かったです。家族でも恋人でもないのに、みんながいなくて1人になった気がしました。マネージャーとしての仕事が出来なくなった事で他の女子マネに迷惑をかけているにも関わらず、そんな事を思っていました。だから、マネージャーとしては失格かもしれません。でも、みんなが一生懸命練習して、これでもかと言う程練習して、レースに出て、たとえそれが悔し泣きに終わったとしても、私はそこにいるだけでもいいから一緒に時間を過ごしたいと感じました。

私はそれまできっと、ただ「仕事」をしていればみんなにとって良いマネージャーになると思っていたのではないかと思います。けれど、私はそれだけで4年間を終わらせたくありませんでした。

そしてこの1年間、仕事が思う様に出来なくなった時に初めて、みんなに対する想いだけでマネージャーになれた気がします。きちんと仕事が出来なくて、やめてもいいんじゃないかなと感じる時が何度かありました。いても何も出来ないんだったら、いなくても大丈夫とも思いました。けれど、そういう考え方で頭の中が一杯の時でも合宿所に来てみんなの顔を見るといつも安心できました。頑張ってやっていこうと思いました。私は、本当に単純に、みんなの事が好きだから今までやってこられたのだと思います。

こんな脳天気な4回生がいてもいいのかしら、とも思いましたが、今ではこんな風に感じる事が出来て良かったと思っています。自分の4年間に満足し、苦しい事、辛い事以上にみんなと一緒にいる事が私にとっては大切だったんだと改めて実感しています。

私は、こんな風に感じさせてくれたクラブの人達に感謝しています。特に、4年間一緒に過ごした同回のみんなは、私の一生の宝物だと思っています。ありがとう。みんながいたから、今、こんな思いを抱く事が出来たと思っています。この4年間、その時々に感じる事は違いましたが、私は今の自分が一番素直だと思います。仕事をしなくてはと気負っていた自分も、焦ってばかりで何も出来ずにいた自分も今はなくなって、自然に私のマネージャーの仕事が出来た様に思います。クラブにとっては役に立たないかもしれません、私にとってはとても大切な事でした。マネージャーの1人として、仕事の出来るマネージャーも大切ですが、それ以上にみんなの事を大切に思えるマネージャーになる事も必要なんだと感じています。私はみんなが好きだから大切にしていきたいという単純な想いから、自分の4年間が作られたと思っています。こんな考えだけでやるなんて…と思われるかもしれませんが、マネージャーという仕事は好きなだけでは出来ませんが、好きでなくては出来ない事だと思います。また、そう思えない人は本当の意味でマネージャーではないと思います。

この4年間、私にマネージャーでいる事を好きでいさせてくれたボート部は、本当に大切な場所でした。また、最後になりましたが、監督、コーチをはじめ諸先輩方、そして後輩のみなさん、本当にありがとうございました。このボート部でお会い出来、本当に嬉しく思います。そして、同回のみんな、私は本当にみんなの事が大好きです。ありがとうございます。

お知らせ

〈ご結婚〉

平成元年卒	関 谷 晴 彦 先輩
平成2年卒	石 橋 雅 信 先輩
平成2年卒	坂 本 龍 一 先輩
平成3年卒	乾 健 治 先輩
平成6年卒	押領司 哲 也 先輩

〈お悔やみ〉

大正15年卒	小 池 勝 先輩
昭和3年卒	市 田 勇 先輩
昭和6年卒	増 本 茂 先輩
昭和16年卒	山 崎 恒 夫 先輩

艇友会員名簿

卒業年度	氏 名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和2年	大町弘蔵	157	(自) 東京都世田谷区成城町4-1-11	03-3483-1317	
昭和3年	坂野公夫	227	(自) 横浜市緑区恩田町1157	045-981-3117	顧問
昭和4年	西郷省三	569	(自) 高槻市桜ヶ丘南町14-5	0726-96-4046	顧問
昭和7年	片岡与三郎	520	(自) 大津市石山寺3-2-1	0775-37-0374	
昭和10年	樋口明	167	(自) 東京都杉並区清水3-19-5	03-3399-3642	
昭和11年	新開明夫	770	ホテル白水園(自営) (自) 徳島市仲之町1-40	0886-22-9165	
昭和12年	大宮隆	600 612	京都市下京区四条通東洞院東入ル立売西町60 日生ビル 宝酒造 (自) 京都市伏見区桃山水野左近東町74-1	075-241-5111 075-611-0519	
昭和12年	内藤謙二	194-01	(自) 東京都町田市鶴川4-34-10	0427-35-2686	
昭和13年	松川寿久	340	(自) 埼玉県草加市谷塚町1760	0489-29-0560	
昭和13年	乾正治	424	(自) 清水市下野中9-1	0543-64-4185	
昭和13年	橋井半次	569	(自) 高槻市東上牧2丁目7-9	0726-69-0122	
昭和14年	近藤憲司	794 794	今治市宅間854-1 近藤織維工業(株) (自) 今治市宅間甲1941	0898-23-3921 0898-23-3775	顧問
昭和14年	高橋宗	520-21	(自) 大津市瀬田2-1-16	0775-45-1234	
昭和16年	平井八兵衛	505 520	岐阜県加茂郡坂祝町酒倉2097 東洋工機(株) (自) 大津市中央1-2-33	05742-5-4151 0775-22-1277	
昭和16年	吉年晃	586 586	河内長野市上原町770 吉年(株) (自) 河内長野市長野町12-5	0721-53-3121 0721-52-2375	
昭和16年	渡辺隆彌	799-15 799-15	今治市桜井甲1041 桜井不動産(株) (自) 今治市桜井甲1041	0898-48-0852 0898-48-0852	
昭和16年	萩徳太郎	573	(自) 枚方市養父ヶ丘2-16-8	0720-57-8285	
昭和16年	山崎恒夫	799-31 799-31	愛媛県伊予市灘町62 山崎書店 (自) 愛媛県伊予市灘町62	0899-82-0218 0899-82-0218	
昭和17年	太田豊彦	249	(自) 神奈川県逗子市桜山3-19-13	0468-71-1819	顧問
昭和17年	榎坂景次	648 591	和歌山県橋本市向副654 紀の川苑 (自) 堺市日置荘西町725-9	07363-2-1000 0722-85-0629	

卒業年度	氏 名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和17年	田中羊一	801	(自) 北九州市門司区東門司2-19-27	093-321-3198	
昭和17年	徳茂彰彦	112	千代田通商 (自) 東京都文京区千石3-16-1-121	03-3727-4621 03-3946-7706	
昭和18年	渡橋透安	730 732	広島市中区紙屋町2-2-8 (株)広島総合銀行 (自) 広島市東区光ヶ丘1番44号	082-242-7200 082-264-0401	
昭和18年	白井茂	520	(自) 大津市尾花川町13-48	0775-23-1355	
昭和18年	山元博	603	(自) 京都市北区紫野西野町10番地 山元マンション	075-415-0942	
昭和18年	杉野寿男	708	(自) 岡山県津山市志戸部665-1	0868-23-3062	
昭和18年	金小路芳正	640 640-01	和歌山市小松原通1丁目 和歌山県庁 (自) 和歌山市西ノ庄684	0734-23-6111 0734-55-2573	
昭和19年	平井忠	605 520	京都市東山区福稻上高松町 (株)松風(役員退任) (自) 大津市中央1-2-42	075-561-1112 0775-22-7355	
昭和19年	鷲田平一郎	520-23	(自) 滋賀県野洲郡野洲町小篠原1389	07758-7-0020	
昭和19年	松井一雄	600 600	京都市下京区高辻富小路西入雁金町160 松井金属工業 (自) 京都市下京区高辻富小路西入雁金町160	075-361-9341 075-361-9341	
昭和20年	北島健一	816	(自) 大野城市南ヶ丘1-28-6	092-596-1961	
昭和21年	流郷吉勝	232	(自) 横浜市南区永田みなみ台1-1-619	045-711-0230	
昭和22年	丸井博嗣	600 600	京都市下京区岩上通綾小路下ル 布阜龜製造卸 (自) 京都市下京区岩上通綾小路下ル	075-811-2223 075-811-2223	
昭和23年	山根藤策	700 700	岡山市表町3-1-26 岡山県漕艇協会 (自) 岡山市中央町10-26	0862-24-3265 0862-26-5532	
昭和23年	西川秋弥	541 564	大阪市中央区東心斎橋1-3-19 五興貿易(株) (自) 吹田市清和園町10-18	06-271-3436 06-383-7591	
昭和24年	土肥信一郎	604 602	京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル トキワ商事(株) (自) 京都市上京区竹屋町通智恵光院東入主税町1252	075-211-3401 075-841-3544	
昭和24年	田村宏	673	(自) 明石市松ヶ丘5-12-12	078-914-8003	
昭和24年	高井正明	455 461	名古屋市港区築盛町62-1 大藤運輸(株) (自) 名古屋市東区出来町3-4-9	052-653-7311 052-723-0147	
昭和24年	毛利匡元	248	(自) 鎌倉市高野22-19	0467-44-4773	
昭和24年	嘉村良輝	583	(自) 羽曳野市羽曳野ヶ丘1-5-4	0729-56-4306	
昭和25年	亀井量太	665	亀井株式会社 (自) 宝塚市宝梅1-2-36	075-343-1781 0797-72-7873	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和25年	四方久男	602	(自) 京都市上京区六軒町通り出水上ル七番町314番地	075-463-6948	
昭和25年	鷹羽昭	650 658	神戸市生田区加納町6丁目 神戸市役所 (自) 神戸市東灘区鶴森台4-5-6	078-331-8181 078-841-7220	
昭和25年	山田善一	666-01	(自) 川西市大和西4-15-10	0727-94-8227	
昭和25年	森島昭三	550 631	大阪市西区立堀堀1-2-5 大阪森島商店(株) (自) 奈良市百楽園3-11-5	06-532-4081 0742-47-8707	
昭和25年	山田昭児	197	(自) 東京都あきる野市草花2098-25	0425-59-3949	
昭和25年	平井貞男	520 520	大津市園城寺町 園城寺 (自) 大津市中央1-8-26	0775-22-2238 0775-23-1613	
昭和26年	水野義男	650	神戸市中央区山手通4-10-30 あさひや化粧品店 (自) 神戸市中央区山手通4-10-30	078-221-7541 078-221-7541	
昭和26年	西田稔	524 522-02	滋賀県守山市守山 滋賀県立守山高校 (自) 彦根市高宮町1189	0775-82-2287 0749-23-1067	
昭和26年	下西辰男	602 602	京都市上京区上立堀通淨福寺西入2丁目下ル姥ヶ北町816 下西染工場(自営) (自) 京都市上京区上立堀通淨福寺西入2丁目上ル姥ヶ北町816	075-451-1129 075-451-1129	
昭和26年	堀井要壯	601 601	京都市南区久世中久世町1-79 堀井畠店(自営) (自) 京都市南区久世中久世町1-79	075-931-0322 075-931-0322	
昭和26年	清水裕	550 545	大阪市西区南堀江3-10-6 清水産業(株) (自) 大阪市阿倍野区旭町3-1-17	06-534-4061 06-632-7781	
昭和26年	中西寛	550 550	大阪市西区鞆本町3-5-21 大商ユタカ商店 (自) 大阪市西区鞆本町3-5-21	06-445-0848 06-445-0848	
昭和26年	竹内孝三	616	(自) 京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町20-27	075-871-8284	
昭和27年	瀧口忠夫	600 600	京都市下京区室町万寿寺角 瀧口商店(自営) (自) 京都市下京区室町万寿寺角	075-351-2438 075-351-2438	
昭和28年	寺元弘	520 520	大津市馬場3-1-5 寺元鉄工所 (自) 大津市馬場3-1-5	0775-25-3845 0775-25-3845	
昭和28年	國富卓也	605	(自) 京都市東山区栗田口三条坊町19の1 ヒューマンズウェル京都207号	075-525-1431	顧問
昭和28年	村山幹夫	520	(自) 横浜市地区若葉台1-12-803	045-921-4193	
昭和28年	西堀龍雄	329-02	(自) 栃木県小山市栗の宮1452	0285-45-0035	
昭和28年	松本欣二	530 662	大阪市北区東天満4-21 南森町中央ビル内 サカタインクス (自) 西宮市甲陽園本庄町7-23	06-356-2026 0798-72-6377	
昭和28年	赤井一夫	600 573	京都市下京区四条通東洞院東入ル立堀西町60 日生ビル 京たから(株) (自) 枚方市香里園山の手町2-53	075-211-7131 0720-31-3140	
昭和28年	加藤卓嗣	917 917	福井県小浜市川崎1-3-2 若狭湾観光 (自) 福井県小浜市小浜津島3 マンション若狭302	0770-52-3113 0770-53-3280	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和28年	長谷川和之	607	琵琶湖汽船(株) (自) 京都市山科区北花山山田町87-1		
昭和29年	北尾元載	690 690	松江市白潟本町71 (株)山陰エージェント (自) 松江市管田町138-7	0852-27-3110 0852-23-6902	
昭和29年	筒井弘	546	(自) 大阪市東住吉区東田辺1-4-16	06-628-5784	
昭和29年	小野木伸	617	(自) 長岡京市長法寺中畑8-37	075-952-1216	会長
昭和29年	村井利康	543	(自) 大阪市天王寺区城南寺町6-31 (自営) 静心苑ビル303	06-763-0519	
昭和29年	北川忠	510	四日市倉庫(株) (自) 三重県四日市市高花平1-1-114	0593-53-5211 0593-21-0349	年度表
昭和30年	竹村栄造	607	(自) 京都市山科区御陵西町45	075-581-0382	
昭和30年	湯川長保	600 617	京都市下京区四条通東洞院 日生ビル 宝酒造(株) (自) 向日市上野町南開34-20	075-241-5111 075-921-2655	
昭和30年	園英明	611 520	宇治市横島町目川173 タカラ貨物 (自) 大津市南滋賀町3-25-5	0774-20-0761 0775-24-6921	
昭和30年	内田文章	516 516	伊勢市大湊町1222-91 内田造船(株)鳥羽ドック (自) 伊勢市藤里町698-3	0596-36-0155 0596-28-0094	
昭和30年	黒田方辰	690 699-11	松江市母衣町55 県教育会館内 山陰ファミリー保険 (自) 島根県大原郡加茂町加茂中183	0852-24-2388 085449-6335	
昭和31年	浅田孝	530 660	大阪市北区中之島5-3-68 ロイヤルホテル (自) 尼崎市浜田町3-88-11	06-448-1121 06-417-6261	
昭和31年	竹田和彦	102 249	東京都千代田区六番町6 日本移動通信(株) (自) 逗子市久木4-14-8	03-3263-5312 0468-71-8268	
昭和31年	松崎雄一	509 569	高槻市須賀町59-6 松崎商店(株) (自) 高槻市日吉台5番地11-7	0726-71-5725 0726-88-5030	
昭和31年	加藤偉雄	582	(自) 柏原市大槻2-6-2-202	0729-72-2251	
昭和31年	加畠哲夫	600 617	京都市下京区室町仏光寺上ル 市田(株)京都支店 (自) 長岡京市滝の町2-4-14	075-361-3171 075-951-2888	年度表
昭和31年	原田貴三	615 615	京都市西京区桂良町17-2 原田商店 (自) 京都市西京区桂良町17-2	075-381-2325	
昭和31年	岩波春喜	101 340	東京都千代田区猿楽町1-5-18 千代田区本社ビル8F (株)アブリコット (自) 埼玉県草加市旭町3-3-14-406	03-3294-7511 0489-36-8518	副会長
昭和32年	西村泰夫	603 603	京都市北区小山西上総町15 オクマ通商(株) (自) 京都市北区小山西上総町15	075-491-1370 075-491-1389	
昭和32年	脇方勇	140 276	東京都品川区東品川1-37-3 (株)トーキョーパッカー 内 イワテプリミート(株) (自) 千葉県八千代市大和田新田452-59	03-3472-1281 0474-59-2125	
昭和32年	阪田良之助	520-11 520-11	滋賀県高島郡高島町勝野1750 大溝工業(株) (自) 滋賀県高島郡高島町勝野1565	0740-36-0030 0740-36-0011	副会長

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和32年	田畠 良夫	659	(自)芦屋市翠ヶ丘町21-16	0797-23-3066	
昭和32年	森口 迪治	194 194	東京都町田市小川3-4-16 多摩電子サービス (自)東京都町田市小川3-4-16	0427-95-7941 0427-96-8290	
昭和32年	六嶋 博司	553 563	大阪市福島区福島4-3-22 大阪日産自動車(株) (自)池田市伏尾台3-2-22	06-446-2130 0727-52-5282	
昭和33年	浅井 清治	616 616	京都市右京区嵯峨ふし原町20-30 更千(株) (自)京都市右京区嵯峨ふし原町20-30	075-881-1116	
昭和33年	南 昌吾	577 636-01	東大阪市高井町西6-31 黒野精版(株) (自)奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺2-6-48	06-783-3031 07457-5-2116	
昭和33年	内田 順己	600 610-11	京都市下京区四条通東洞院 日生ビル 宝酒造(株) (自)京都市西京区御陵大枝山町6-8-17	075-241-5111 075-333-1933	会計監事
昭和33年	畠山 純一	663 636-01	西宮市津門大箇町8-39 世界長ゴム(株)化成品部 (自)奈良県生駒郡斑鳩町小吉田2-11-21	0798-26-5724 07457-4-1837	
昭和33年	大塚 享	105 180	東京都港区新橋1-18-16 日生新橋ビル ニッセイリース(株) (自)東京都武蔵野市中町3-17-15-207	03-3593-3708 0422-54-4890	
昭和33年	八神 弘雄	460 458	名古屋市中区丸の内3丁目2番29号 八神国際貿易(株) (自)名古屋市緑区神沢2-612	052-962-3811 052-877-0222	
昭和33年	庄山 章信	910 919-06	福井市渕町15-8 (株)フェニックス出版 (自)福井県坂井郡金津町春宮2丁目2番40号	0776-35-7866 0776-73-0446	
昭和33年	矢野 功	540 665	大阪市東区京橋3-37 大林ビル25階 光世証券 (自)宝塚市清荒神町2-18-2	06-943-6770 0797-85-0454	
昭和33年	加藤 智	519-05 515	三重県度会郡小俣町元町1648-10 大東自動車(株) (自)伊勢市二俣4-1-9	0596-23-1155 0596-22-1536	
昭和33年	江原 裕明	709-45	(自)岡山市津山郡鏡野町薪森原7685 (自営)	0868-23-0383	
昭和33年	伊藤 竹美	104 154	東京都中央区銀座8-8-5 大陽ビル4階 三勝ハウジング (自)東京都世田谷区下馬2-44-15 ザ・オーバーマンション405	03-5568-0471 03-3418-5346	
昭和33年	北村 久弥	541 612	大阪市中央区高麗橋1-5-9 内藤証券(株) (自)京都市伏見区深草川原町1-1 コトーハイツC棟326	06-229-6906 075-641-7519	
昭和34年	市村 敏昭	596 621-02	高槻市大畑町23-12 (株)栗田工務店 (自)龜岡市本梅町平松谷ヶ奥1-29	0726-96-2434 07712-6-3899	
昭和34年	杉本 茂雄	520	(自)大津市千町3-830-2	0775-37-1451	幹事長
昭和34年	龍村 和憲	612 612	京都市伏見区桃山町松平筑前10-1 タカラ物産(株) (自)京都市伏見区川東町2-20	075-601-6267 075-621-3649	年度代表
昭和34年	中島 俊一郎	550 540	大阪市中央区淡路町3-16 ナカボー(株) (自)大阪市中央区十二軒町7-15 コーファセントラル702	06-202-2555 06-763-4386	会計監事
昭和34年	岡田 光雄	604 603	京都市中京区東通錦上ル (株)大盛証券 (自)京都市北区上賀茂胡露ヶ原町27-18 ライオンズマンション上賀茂102号	075-221-5080 075-724-8689	会計監事
昭和34年	安藤 学	601 615	京都市南区上鳥羽尻切町10 城東高周波京都工場 (自)京都市西京区上桂森上町11-26	075-661-1691 075-391-9314	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和34年	大野 準一郎	530 573	大阪市北区中之島3-6-32 (株)アサヒスチール (自)枚方市楠葉花園町5-4-1206	06-443-5281	
昭和35年	伊藤 章司	176 176	東京都練馬区田柄1-10-27 エース商会 (自)東京都練馬区田柄1-10-27	03-3930-8481	
昭和35年	内貴 康夫	650 662	神戸市中央区海岸通8 神港ビル (株)大洋開発 (自)西宮市神原1-3	078-333-1788 0798-74-0093	
昭和35年	松尾 武嗣	610-01	(自)京都府城陽市久世南垣内93	07745-2-2029	
昭和35年	岩崎 匡利	656-15	酒類販売(自営) (自)兵庫県津名郡一宮町江井3040	0799-86-0037	
昭和35年	和田 久雄	154 164	東京都世田谷区池尻3丁目21-24 東洋技研株式会社 (自)町田市東玉川学園1-31-16	03-3419-2266 0427-28-7214	
昭和35年	山添 敏雄	601 603	京都市南区吉祥院石原京道町1-1 光伝導機(株) (自)京都市北区出雲路松の下町28	075-661-0517 075-231-6673	
昭和35年	榎本 昌浩	650 651-11	神戸市中央区東町123-1 大森廻漕店輸入部 (自)神戸市北区南五葉4-1-5	078-391-7205 078-592-4489	年度代表
昭和35年	丸山 信吾	652 662	神戸市兵庫区大開通9-1-14 (株)トヨタカーローレ兵庫 (自)西宮市六軒町12-3	078-576-5110 0798-74-1345	
昭和35年	佐野 潤一	600 600	京都市下京区西七条東石ヶ坪町50 京都食品製造所 (自)京都市下京区西七条東石ヶ坪町50	(FAX) 075-313-1077 075-313-1076	
昭和35年	小山 隆治	530 658	大阪市北区芝田町2 かっぱ横町 パブスナック sunny side (自)神戸市東灘区本山南町4丁目3-16-321	06-373-0597	
昭和35年	大西 治	460 489	名古屋市東区東新町10-1 中部電力工務部 (自)瀬戸市すみれ台1-26	052-951-8211 0561-48-2734	年度代表
昭和36年	田沢 明	010 010	秋田市八橋本町1丁目1-32 八橋ビル (有)るつ基盤研究所 (自)秋田市外旭川字前谷地53-1		
昭和36年	梅岡 克次	520	梅岡印刷(自営) (自)大津市平津1-20-1	0775-37-3737	
昭和36年	北野 進	559 614	大阪市住之江区南港東5-1-2 高島屋関西流通センター内 (株)タフ (自)京都府八幡市橋本愛宕山1-1	06-614-5451 075-981-0464	
昭和36年	森景 経世	597 569	貝塚市脇浜678 (株)大阪製鎖造機 見積課 (自)高槻市松ヶ丘4-21-9	0724-31-6225 0726-88-5352	幹事
昭和36年	菊岡 穎一	610-01	製茶業(自営) (自)京都府城陽市上津屋野上14-1	07745-2-2689	幹事
昭和36年	友高 敏夫	541 533	大阪市中央区高麗橋1丁目6-6 (株)ナショナル証券大阪支店 関西プロック担当 (自)大阪市東淀川区菅原6-12-17	06-202-6421 06-329-5849	
昭和36年	有本 豊	155	(自)東京都世田谷区代田3-10-13		
昭和36年	神原 顯次	222 241	横浜市港北区新横浜3-6-12 日経ビル 宝酒造(株) 南関東支社 (自)横浜市旭区鶴ヶ峰2-7-19-601	045-471-7211 045-953-0044	
昭和36年	上野 洋一	536 594	大阪市城東区成育5-22-9 (株)サカウ金属工業 (自)大阪府和泉市鶴山台3-1-43	06-933-5101 ~5106 0725-45-3830	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和37年	本荘 崇郎	278	千葉県野田市岩名2丁目18-2	052-331-7130	
昭和37年	阪本 厚	537 546	大阪市東成区深江町1丁目17-9 (株)関西ワイヤードサービス (自)大阪市東住吉区北田辺町6-12-18	06-975-0661 06-622-7510	
昭和37年	中山俊彦	236 247	横浜市港北区新横浜1-17-12 岩田ビル5F 住友不動産建物サービス(株) 横浜支店 (自)横浜市栄区犬山町24-16	045-472-2501 045-893-8707	年度代表
昭和37年	中田康夫	540 565	大阪市中央区南久宝寺町1-5-7 根来 (自)吹田市古江台1-10-12	06-262-1111 06-262-9945 06-872-4971	
昭和37年	三方茂	558 598	堺市陶器北1699 大阪日産自動車(株)佐野貝塚支店 (自)泉佐野市大西1丁目21-1	0724-37-3323 0724-62-0067	
昭和37年	普門洋一	560	(株)ヤナセ大阪支店 (自)豊中市本町6-2-37	06-797-1171 06-852-4451	
昭和37年	能勢啓	150 206	渋谷区渋谷2-11-13 松田ビル3F (株)ミクロネシアンドアイ (自)多摩市貝取2丁目2-2-18-101	03-3406-6191 0423-71-7417	
昭和37年	中川雅夫	565	豊中市新千里北町3-4 B25-307 西田設備工業 (自)豊中市新千里北町3-4 B25-307	06-832-3445 06-832-3445	
昭和37年	松村晴夫	780 781-02	高知市桜井町2-1-22 (株)光事務機 (自)高知市瀬戸東町2-43	0888-48-2424 0888-41-6406	
昭和37年	鉄谷高久	663	(自)西宮市下大市東町59-1	0798-53-2738	
昭和37年	野田義男	543	(株)タムラ産業 (自)大阪市天王寺区上汐5-1-2	06-773-4104 06-772-0579	
昭和37年	清水治	651	神戸市中央区布引町4-3-8 谷川ビル2F (株)協栄リンクス		
昭和38年	広瀬恒善	655	(自)神戸市垂水区大町5-3-13	078-705-2470	
昭和38年	路次二郎	160 236	東京都新宿区西新宿3-20-1 ロッテ冷菓(株) (自)横浜市金沢区並木1-10-16-103	03-5388-5670 045-774-3255	
昭和38年	大西義則	574 573	大東市三箇6-15-20 (株)ファイブメンテサービス (自)枚方市西船橋2-46-10	0726-78-3341 0720-68-7225	
昭和38年	西村泰夫	600 520	下京区四条通東洞院東入ル立売西町60番地 日本生命四条ビル9F 富士ゼロックス(株) (自)大津市横木1-11-3-413	075-241-0281 0775-22-0564	
昭和38年	鏡敏光	300	(自)茨城県土浦町中神立町8-3 日本板硝子社宅136号	0298-32-1153	
昭和38年	寺田英二	166 181	東京都杉並区高円寺南3-37-1 花の木(自営) (自)三鷹市井の頭2-32-3	03-3315-1238 0422-47-1196	
昭和38年	入江豊	606	入江工務店(自営) (自)京都市左京区田中西大久保46	075-781-5703	
昭和38年	中村泰博	980 980	仙台市青葉区一番町4-11-1 (株)141 (自)仙台市青葉区上杉2-4-32-501	022-268-0141 022-261-7925	
昭和38年	増谷昭夫	659	(自)芦屋市三条町15-11	0797-31-2705	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和38年	平田隆司	604 565	京都市中京区寺町通御池上ル 日宝御池ビル (株)アルキオーネメント(株) (自)吹田市山田西2-8 A-8-816	06-875-2819	
昭和38年	日野義樹	530 640	大阪市北区東天満2-6-7 高橋ビル東8号館8F (株)電広営業部 (自)和歌山市吹上4-4-46	06-354-1181 0734-25-6389	年度代表
昭和38年	前田和男	671-11 675	姫路市広畠区高浜町2-25 オートラマライフ兵庫 (自)加古川市野口町野口119-99	0792-36-2101 0794-26-6994	
昭和38年	橋本尚吾	541	大阪市中央区瓦町4丁目5番4号 株式会社マスザキヤ	06-222-3311	
昭和39年	池畠勇	105 240-01	東京都港区浜松町2-4-1 (株)日本チバガイギー (自)横須賀市秋谷2-21-23	03-3435-5261 0468-57-8103	
昭和39年	加野豊司	564 520-21	吹田市朝日町5-32 摂津信用金庫吹田支店 (自)大津市野郷原2-6-15	06-381-4321 0775-45-6797	年度代表
昭和39年	伊藤青悟	471 488	豊田市神池町2-1236 (株)丸和電子化学 (自)尾張旭市緑町緑ヶ丘100-8 本地ヶ原住宅3-202	0565-80-3245 0561-53-3425	
昭和39年	鷹野真臣	914 914	福井県敦賀市若泉町1 (株)栗田工業 (自)福井県敦賀市松島町10-32-2	0770-25-0389 0770-22-3587	
昭和39年	峰尾元庸	530 630	大阪市北区大融寺町2-21 ニュープラザビル 光映出版(株) (自)奈良市四条大路1-18-37	06-311-5028 0742-33-0091	年度代表
昭和39年	中原克己	486 512	春日井市鷹来町東光坊4516 中部積水商事 (自)四日市市あかつき台1-3-54	0568-56-3111 0593-38-0862	
昭和39年	赤川雅俊	102 167	東京都千代田区3番町28-7 赤川英K.K (自)東京都杉並区西荻南4-20-12	03-3265-2301 03-3332-5328	
昭和40年	廣田恒夫	542 615	大阪市中央区心斎橋筋1-7-1 (株)大丸心斎橋店 (自)京都市右京区西京極南衣手町53	06-252-9358 075-315-1580	幹事長
昭和40年	石本君夫	553 553	大阪市福島区野田2-21-13 (株)石本メリヤス (自)大阪市福島区野田2-21-6	06-462-3901 FAX 3902 06-461-0902	幹事
昭和40年	岡美知雄	690 683	松江市母衣町55-4 松江市商工会議所 (自)米子市両三柳4603-15	0852-23-1616 0859-29-4440	
昭和40年	山田義弘	661	(自)尼崎市潮江1丁目21-1-204	06-499-3674	
昭和40年	内保忠勝	510 515-25	四日市市六呂見633 東海経連商事(株) (自)三重県一志郡一志町庄村316-1	0593-46-7500 0592-93-6080	
昭和40年	津崎晴功	103 617	東京都中央区日本橋小舟町12-15 キヨーラク(株) (自)長岡京市友岡西山18	03-3662-5962 075-951-7727	
昭和40年	木村正	020	(株)木村実業 (自)盛岡市紺屋町4-28	0196-54-2737	
昭和40年	池田宜郎	530 673	大阪市北区西天満2-4-4 堂島関電ビル (株)積水化学工業 (自)明石市中崎町1-1 マリンパレス明石702	06-365-4188 078-917-2416	幹事
昭和40年	西田稔	103 270-13	東京都中央区日本橋堀留町1-2-10 (株)新商 (自)千葉県印旛郡印西町小倉台3-1-17-506	03-3231-0711 0476-47-0428	
昭和40年	稻垣謙介	103 560	東京都中央区日本橋大伝馬町6-5 (自)豊中市東泉丘1-5-3-508	03-3666-5711 03-5626-7912	幹事

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和40年	村田典彬	649-73 565	和歌山県橋本市隅田町真土39 小川工業企画室 (自) 吹田市春日2丁目1-4-707	0736-32-2225 06-386-7916	
昭和40年	丸山英敏	530 562	大阪市北区西天満2-10-2 幸田ビル10F 丸山法律事務所 (自) 審面市桜ヶ丘3-10-4	06-365-6188 0727-23-4019	幹事
昭和41年	阪本章	550 550	大阪市西区九条1-11-10 花屋(自営) (自) 大阪市西区九条1-11-10	06-582-2110	
昭和41年	鷺北東	532 583	大阪市淀川区東三国5-5-28 (株)東洋精器工業 (自) 大阪府南河内郡太子町春日1438-8	06-392-5721 0721-98-1086	年度表
昭和41年	堀内正一	543 590-01	大阪市天王寺区上本町8-45 堀内株式会社 (自) 堺市桃山台2-18-5	06-772-4866 06-772-7665 0722-99-3649	
昭和41年	大宮久	600 612	京都市下京区四条通東洞院 日生ビル (株)宝酒造 (自) 京都市伏見区桃山長岡越中北町11	075-241-5100	
昭和41年	森岡正宏	100 133	東京都千代田区永田町2-1-1 衆議院第二議員会館423号 奥野誠亮事務所 (自) 奈良県法道佐保山町876	03-3508-7423 0742-27-1690	幹事
昭和41年	寺西勲	489 454	瀬戸市東横山町119-1 瀬戸信用金庫瀬戸本部 (自) 名古屋市中川区広田町2-39	052-332-2361 052-353-3214	
昭和42年	長友毅嘉	887	(自営) (自) 日南市園田1-9-51	0987-22-2731	
昭和42年	新見康則	602 611	京都市上京区烏丸上長者町 KBS京都放送 (自) 宇治市小倉町西山48-32	075-431-1111 0774-20-3803	
昭和42年	桜田東士	104 184	東京都中央区築地7丁目3番1号 (自) 東京都小金井市緑町2丁目17番31号 日商エレクトロニクス(株) 創心寮	03-3544-8311 03-3544-8408	幹事
昭和42年	赤尾正明	500	(自営) (自) 岐阜市日の本町2-1	0582-51-6576	
昭和42年	松本洋	330 336	大宮市宮原町2-47-9 (株)松下電工埼玉営業所 (自) 埼玉県浦和市大東2-2-30	0486-65-2131 0292-55-1611	
昭和42年	平井秀彦	806 805	北九州市八幡西区筒井町5-5 安田火災海上保険(株)八幡支店 (自) 北九州市八幡東区清田1-4-24	093-622-0707 093-652-0775	
昭和43年	柴崎皓	281 299-31	千葉市幕張町3-7716 小嶋塗料(株) (自) 千葉県土気町1809-154	0472-74-1721 04757-4-5661	
昭和43年	高橋潔	162 108	東京都千代田区こうじ町1-1 (株)ワコール インテリア事業部 (自) 東京都港区芝浦4-16-25 ワコール浜風ハイツ701	03-3239-1245 03-3453-9291	年度表
昭和43年	田口長	151 359	(株)エスコ (自) 所沢市御幸町19-2-301	03-3320-1291	
昭和43年	富田孝司	103 278	東京都中央区日本橋小伝馬町2-3 川島ビル3F (株)王子化工 (自) 千葉県野田市山崎1594-124	03-3639-9715 0471-25-5259	
昭和43年	武田正宏	683 683	米子市上後藤5-4-5 (株)赤名水産 (自) 米子市後藤5-4-5	0859-44-1955 0859-24-0776	
昭和43年	江花継夫	965	議会事務局 会津若松市議会議員 (自) 会津若松市東山町大字石山小字慶山758-1	0242-27-0074 0242-27-0509	
昭和43年	村上和也	103	東京都中央区日本橋浜町1-3-4 東京浜町近鉄ビル2F (株)近鉄不動産販売東京支店	03-3863-9755	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和43年	中島靖之	430 485	浜松市向宿2丁目1-7 ビュアビル3F (株)三晃金属工業浜松営業所 (自) 小牧市古雅4-16-9	053-462-4330 0568-79-7213	
昭和43年	川上也須子	654	(自) 神戸市須磨区高倉台2-10-1	078-733-5278	
昭和44年	浜崎潔	520 520	大津市長等3-2-24 浜崎鉄砲火薬店 (自) 大津市国分2-362-6	0775-24-2751 0775-34-4826	
昭和44年	山本克美	602	京都市上京区七本松通一条上ル滝ケ鼻町 とようけ屋山本 (自) 千葉県東葛飾郡沼南町大津ヶ丘3-1-8-503	075-462-1315 075-465-3331	
昭和44年	宮城博	760 332	香川県高松市砌屋町2番地8 三井生命ビル (株)大陽石油 四国支店 東四国営業所 (自) 香川県高松市高松町1719-2 パーク石塚	0878-51-6555 0878-44-2898	
昭和44年	松平忠正 (旧姓 加藤)	619-02	(株)松下精工 住宅空調事業部 (自) 相楽郡木津町木津川台1-7-1	06-949-1521 07747-2-9408	年度表
昭和44年	洲濱祐一	803	北九州市小倉北区高浜1丁目4-30 岩谷産業KK 北九州営業所 (自) 北九州市小倉南区葉山町3丁目11-1	093-521-5431 093-962-1718	年度表
昭和44年	藤野章	541 573	大阪市西区西本町2-3-6 山岡ビル 橋本化成(株)大阪営業所 (自) 枚方市茄子作北町27-1	06-534-7707 0720-54-5813	
昭和44年	福益敏	606 606	京都市左京区下鴨蓼倉町22-17 タックスプランニングtacs(自営) (自) 京都市左京区下鴨蓼倉町22-17	075-723-0590	
昭和44年	塚本和夫	533 564	東淀川区東中島1-20-4 日本鮮食 (自) 吹田市千里山西5-13-3	06-370-0582 06-384-4855	
昭和45年	村井富雄	923 923	小松市能美町タ-154 (株)梯コンクリート (自) 小松市浮柳町乙111-1	0761-23-1593 0761-22-8232	
昭和45年	金沢重光	460 468	名古屋市中区錦2丁目15-22 あさひ銀行BL内 (株)蝶理 名古屋支店 (自) 名古屋市天白区島田2-301 島田橋住宅2-712	052-202-2607 052-803-7371	
昭和45年	清水正俊	572 572	金沢市芳賀町2丁目16-15 (株)松下電器産業リビング 営業本部中部統括営業推進グループ担当 (自) 金沢市芳賀1-15-6-1003	0762-23-1122 0762-65-7081	幹事
昭和45年	新井喜範	600 600	京都市下京区五条通西洞院東入ル鍛冶屋町3 京阪シルク (自) 京都市下京区五条通西洞院東入ル西鍛屋町	075-351-4208	
昭和45年	田中重次郎	558 531	大阪市住吉区清水丘2-23-18 (自) 大阪市北区大淀中1-12-7 インペリアル大淀403	06-675-8792 06-453-9150	幹事
昭和45年	高橋滋	600 520-21	京都下京区四条高倉 (株)大丸京都店総務部 (自) 大津市瀬田3-20-21	075-241-6966 0775-45-6845	幹事
昭和45年	荒井英之	505 505	岐阜県加茂郡坂祝町酒倉 (株)佐合木材造園部 (自) 美濃加茂市田島町2-1-16	05742-5-3233 05742-6-1744	
昭和45年	服部周三	553 610-01	大阪市福島区3-1-59 カリビル5F 日立造船エンジニアリング (自) 城陽市寺田尼塚14-22 桜ヶ丘団地	06-453-6618 07745-3-5066	
昭和45年	小林徹	520 520	大津市におの浜3-4 オブテックス (自) 大津市千石台7-7	0775-24-1900 0775-25-7359	
昭和46年	稻垣茂春	541 664	大阪市中央区北浜2丁目2番22号 北浜中央ビル (株)栗田工業大阪支社電子産業工事部電子産業工事二課 (自) 伊丹市春日丘2丁目136-3 春日丘アーバンコンフォートA-924	06-228-4823 0727-70-3089	年度表
昭和46年	大橋行正	323 329-01	栃木県小山市大塚480 (株)昭和アルミ (自) 栃木県都賀郡野木町大字若林53-12	0285-30-1476 0280-56-0313	

卒業年度	氏 名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和46年	佐々木 譲	666-01	(株)クラレ産業資材販売2部 (自)川西市水明台1-1-139	03-3277-3111 0727-92-5463	
昭和46年	鈴木文治	100 297	東京都千代田区大手町1-1-2 あさひ銀行本店営業部 (自)千葉県茂原市国府関1843-4	03-3287-2111 0745-25-7789 0565-28-2121	
昭和46年	中田二三男	471 444-21	豊田市豊田町1 (株)トヨタ自工本社 「トヨタ工業高等学園」 (自)岡崎市上和田町正ケン61	0564-22-3034	
昭和46年	宮川 滋	600 616	京都市下京区高倉 (株)大丸京都店 外商4部 (自)京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川20-54	075-211-8111 075-872-0937	
昭和47年	岡田一夫	923 923	小松市今江町9-574 岡田鉄工 (自)小松市細工町33	0761-22-0519 0761-22-5800	
昭和47年	山岸進	542 567	大阪市南区西清水8 (株)大丸心斎橋店クレジット業務 (自)茨木市穂積台2-20	06-561-3461 0726-23-3047	
昭和47年	横山基嗣	675-01 655	兵庫県加古郡播磨町新島23 (株)王子製作所 (自)神戸市垂水区霞ヶ丘1-5-19	0794-37-1221 078-708-9981	幹事
昭和48年	小島康正	579 630-02	東大阪市本庄1240-1 弥栄小学校 (自)生駒市小瀬町659-5	0729-61-6486 07437-6-6026	
昭和48年	山口俊郎	103 270-11	東京都中央区日本橋小船町5-1 (株)長瀬産業 財務部 (自)千葉県我孫子市つくし野7-12-8	03-3665-3096 0471-84-6784	
昭和48年	若菜英作	150 150	東京都渋谷区渋谷1-16-9 (株)サンクスンスター・ナショナル (自)東京都渋谷区東3-1-16 メゾネット東103	03-3486-8231 03-3499-5726	年度表
昭和49年	中村喜光	424 424	清水市島崎町6-15 (株)事代丸漁業 (自)清水市草薙350-51	0543-53-3461 0543-47-0847	
昭和49年	五十嵐純也	578 572	東大阪市ひょうたん山郵便局 ひょうたん山郵便局 (自)大阪府寝屋川市豊野町4-7	0729-85-4393 0720-22-9418	
昭和49年	小松研一	889-21 880	宮崎市大字熊野字藤兵衛中洲 宮崎県総合青少年センター (自)宮崎市小松台東1-14-12	0985-58-1711 0985-48-0788	
昭和49年	植西信子 (旧姓河林)	607	(自)京都市山科区四ノ宮鎌手町21-7	075-592-7409	
昭和49年	太田実	108 245	東京都港区芝4-8-2 松下電工 (自)横浜市戸塚区汲沢510-601	03-3454-6162 045-862-1372	年度表
昭和49年	長友清利	880 889-21	宮崎市橋通西1-1-1 宮崎市役所学校教育課 (自)宮崎市大字熊野10569	0985-26-0740 内線2166 0985-58-0632	
昭和49年	山形彰人	923	山形損害保険事務所(自営) (自)小松市南浅井町85 ハ-5	0761-21-7228	年度表
昭和49年	山本晃弘		伊藤忠商事・香港在住(H.6.7)		
昭和49年	楠戸俊宣	710 710	倉敷市大島3659 倉敷ビバリーテニスクラブ (自)倉敷市羽島733-7	0864-25-0525 0864-22-7198	
昭和49年	寄藤辰夫	650 650	神戸市中央区元町通3-9-4 しぐれ茶屋 (自)神戸市中央区中山手通4丁目17-6-804	078-331-0070 078-271-7393	
昭和49年	花森節夫 (旧姓西村)	675-01 701-32	兵庫県加古郡播磨町新島23 (株)王子製作所 (自)和氣郡日生町日生1648	0794-37-1600 0869-72-2506	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和49年	山森良枝	612	(自)京都市伏見区稻荷榎木橋1	075-641-2407	
昭和50年	宮地信行	596 586	岸和田市五軒家町15-10 住友銀行岸和田支店 (自)河内長野市南花台5-24-6	0724-22-3881 0721-63-5543	
昭和50年	鎌田博	015	(自)秋田県本荘市出戸町2番塙138		
昭和50年	植野誠之	107 359	東京都港区元赤坂1-2-3 サントリー(株)東京第2部輸入酒課 (自)所沢市上安松252-12	03-5210-3826 0429-94-3091	
昭和50年	早川勝	103 410	東京都中央区日本橋室町1-7-1 味駿河銀行 4F営業企画部 (自)沼津市真砂町212	03-3279-5525 0559-62-3022	
昭和50年	上田達彦	651 662	神戸市中央区磯上通8-3-7 明治生命神戸支店 (自)西宮市仁川百合野7-13 明生仁川百合野ハイムB-101	078-231-4501 0798-54-1941	
昭和50年	梅田雅昌	546	大阪市東住吉区中野4-5-15	06-797-0504	
昭和51年	湊良三	161 112	東京都杉並区高円寺南1-7-4 住友銀行東高円寺支店 (自)東京都文京区千石2-20-3-172	03-3316-1281 03-3944-8184	
昭和51年	坂本雄二	615 601-02	京都市西京区桜原芋峰21-2 (株)北桑木材京都営業所 (自)京都府北桑田郡京北町周山下寺田18-4	075-391-1585 07715-2-0611	
昭和51年	島敏	028-32	岩手県稗貫郡大迫町大迫3-170 (株)島製材所 (自)岩手県稗貫郡大迫町大迫3-170	0198-48-3620	
昭和51年	武尾豊	532 583	大阪市淀川区西中島4-1-1 (株)日清食品統轄本部 人事課 (自)羽曳野市高鷲4-9-4-416 藤井寺グリーンハイツ	06-305-1111 0729-38-8016	年度表
昭和51年	湊裕子 (旧姓林)	112	(自)東京都文京区千石2-20-3-172	03-3944-8184	
昭和51年	坂本美恵子 (旧姓浜松)	601-02	(自)京都府北桑田郡京北町周山下寺田18-4	07715-2-0611	
昭和52年	山口忠博	520 525	大津市御陵町4-1 滋賀県文化体育振興事業団立スポーツ会館 (自)草津市上笠町4-30-25	0775-22-0301 0775-63-5570	
昭和52年	荻野義明	107 211	東京都港区元赤坂1-2-3 (株)サントリー (自)川崎市中原区不月祇園町220 (株)サントリー祇園町社宅506号	03-5210-3814 044-433-5904	幹事
昭和52年	中野貴夫	103 124	東京都中央区日本橋小舟5-1 (株)長瀬産業合成樹脂第3部 (自)東京都葛飾区奥戸2-26-303	03-3665-3234 03-3697-8410	年度表
昭和52年	矢島正恒	399-02 391-02	長野県諏訪郡上諏訪町 下諏訪町役場 (自)長野県茅野市豊平2718-1	0266-27-1111 0266-72-8837	
昭和52年	河畠宜伸	541 604	大阪市中央区本町4-4-24 住友生命本町第2ビル スマセイ・リース株式会社 (自)京都市中京区西ノ京馬代町12-36	06-245-6855 075-463-8817	
昭和52年	馬杉淳一	105 272	東京都港区芝浦1-13-10 (株)ワコール新宿店 (自)市川市中山1-28-10 ワコール第2中山社宅102号	03-3325-1180 0473-34-8361	
昭和53年	桶田英俊	550 545	大阪市西区新町3丁目1番31号 (株)レナウン第二営業所 第四商品課 (自)大阪市阿倍野区阿倍野筋5-3-15	06-543-1361 06-623-8234	年度表
昭和53年	石鍋寿寛	239 112	横須賀市鴨居3-9-19 觀音崎水産生物研究所 (自)文京区駒込1丁目22-30 305号	0468-41-1533 03-5395-5489	

卒業年度	氏 名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和54年	木村俊雄	600 520-21	京都市下京区四条通高倉 大丸京都店総務部 (自) 大津市瀬田1-26-17	075-241-6966 0775-43-4757	
昭和54年	高橋正樹	651 663	神戸市中央区磯通4-2-26 新英路ビル 積水化学工業(株) (自) 西宮市上田中町4-26	078-251-8921 0798-49-1558	
昭和54年	松川信之	448 447	刈谷市幸町2 知立市商工会 (自) 愛知県緑南市幸町1丁目59番地	0566-81-0904 0566-48-3141	
昭和54年	森信秀	607 606	京都市山科区西ノ山中臣町20 福田金属 (自) 京都市左京区田中上古川町34-35 メゾン高野206号	075-581-2161 075-721-9875	
昭和54年	村田市郎	101 336	住友銀行お茶の水支店 (自) 埼玉県浦和市神明2-1-19 メイフェアビルズ206号	03-3295-6601 048-885-4540	
昭和54年	小笠原司	020 020	岩手県紫波郡矢幡町岩手流通センター南3-4-20 (自) 岩手県紫波郡矢幡町岩手流通センター南4-1-19	0196-38-4305 0196-38-5794	
昭和54年	藤井浩	600 612	京都市下京区木屋町通松原上ル2丁目天満橋170 伏見信用金庫 河原町支店 (自) 京都市伏見区納所北城堀37-38	075-361-8211 075-631-9550	
昭和54年	幸田龍一	036 036	弘前市在府町36 朝陽小学校 (自) 弘前市青山2丁目3-8	0172-32-3647 0172-36-6732	
昭和54年	永坂隆明	500 500	岐阜市神田町6-11-1 太平洋証券 (自) 岐阜市市橋3-11-17 サンハイツ広瀬110	0582-65-3421 0582-74-2601	
昭和55年	城生清孝	904	(自) 沖縄市胡屋6-11-10 シャトー城北T7-2B	098-933-1457	年度表
昭和55年	小関隆一	105 272-01	東京都港区虎ノ門18番19号 大同ホクサン(株)東京支社 (自) 市川市塩焼2丁目2番地20 行徳ハイム2-9-9	03-3578-7820 0473-98-2618	
昭和55年	石鍋寿明	460 465	名古屋市中区丸ノ内3-21-25 清風ビル 協和発酵(株) 名古屋支社 (自) 名古屋市名東区高社1-16 東昭ビル208号	052-962-1092 052-771-6447	
昭和55年	益田秀仁	650 657	神戸市中央区東川崎町1丁目7-2 (株)神戸阪急 (自) 神戸市灘区楠丘町3丁目の1 1021号	078-341-2611 078-841-2089	
昭和55年	井頭感	770	徳島市八百町3丁目23 山一証券徳島支店 (自) 徳島市住吉4丁目12-30 ビレッジ井上C棟	0886-22-0271 0886-23-5281	
昭和55年	根木寛明	432	日本長期信用銀行 ロサンゼルス支店 (自) 浜松市上浅田1-12-40	213-629-5777 053-453-7359	
昭和55年	水野正成	640 640	和歌山市六十谷1336-72 (自) 和歌山市次郎丸78-1	0734-61-7344 0734-55-5073	
昭和55年	玄道秀則	732 731-01	広島市東区光町1-12-16 荒泉広島ビル6F YSテクノシステム(自) 広島市安佐南区緑井7-16-68	082-262-6711 082-870-5315	
昭和55年	桜井隆夫	380 399	長野市広瀬743-4 教員住宅 (自) 松本市寿白瀬1201-4	0262-39-2719 0263-58-0538	
昭和55年	北川浩二	525 520-21	草津市野路町2-2-75-3 松下電器産業エアコン事業生産技術部技術課 (自) 大津市神領2丁目5-69	0775-63-5211 0775-45-4939	
昭和55年	上浦英明	142	(自) 東京都品川区小山6-2-11 プラザパート2-202	不 明	
昭和56年	池谷晋	064	住友生命 (自) 札幌市中央区南18条花B棟2-2	011-521-8086	

卒業年度	氏 名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和56年	荒山元秀	598 598	泉佐野市りんくう往来南3番7KSCビル6F (株)マドック (自) 泉佐野市高松北1丁目3-31-102	0724-69-6456 (FAX)69-6466 030-62-50620	
昭和56年	細見博	601 610-01	京都市伏見区紙子屋町538 脇ガラス株式会社 (自) 京都府城陽市寺田植尻12番地の33	075-621-3963 07745-5-6861	
昭和56年	坂井俊夫	760 760	高松市番町3-1-1 香川県立高松高校 (自) 高松市浜の町60-67-1011	0878-31-7251 0878-51-8542	
昭和56年	中辻努	588 648	堺市西野237-1 桃山学院大学学長室 (自) 和歌山県橋本市小峰台1丁目13-2	0722-36-1181 0736-36-1384	年度表
昭和56年	中住慎一	720-03 791	広島県沼隈郡沼隈町常石1083 三浦工業(株)船用設計課 (自) 松山市辰巳町1-8	0899-79-1111 0899-53-3207	
昭和56年	石田雄治	100 134 812	東京都千代田区丸ノ内2-1-1 明治生命保険相互会社企画部システム調査グループ (自) 東京都江戸川区西葛西3-12-15 アーバンハイツ西葛西303	03-3283-8474 03-3687-5762	
昭和56年	内海久俊	861-52	福岡市博多区博多駅東2-13-34 (株)ミサワホームヤマエ ヤマエ久野 熊本市小島市下町523-1	092-473-6261 096-329-1987	
昭和56年	野瀬正治	541 662	大阪市中央区高麗橋4-6-2 銀泉横堀ビル 住友ビジネスコンサルティング(株) (自) 西宮市五月ヶ丘9-21 グランドムール甲陽園302	06-227-2485 0798-72-3468	
昭和57年	目片雅喜	600 520	京都市下京区烏丸通四条下ル水銀屋町630 滋賀銀行京都支店 (自) 大津市杉浦9-21	075-351-8641 0775-37-2512	
昭和57年	河毛樹	731-51 738	広島市佐伯区美鈴ヶ丘南1-12-1 広島市立美鈴ヶ丘中学校 (自) 広島県佐伯区五月ヶ丘5-11-2	0829-28-2161 0829-41-0369	
昭和57年	森保二	190 227	東京都立川市曙町2-10-1 ふどうやビル4F 東陶機器(株)西東京支店 (自) 横浜市緑区市ケ尾町1481-5 ハイブリッジ107	0425-27-7077 045-974-0289	
昭和57年	林圭介	604 520-30	京都市中京区壬生仙念町1の1 滋賀銀行壬生支店 (自) 滋賀県栗太郡栗東町北中小路365-12	075-801-2181 直通 2286 0775-54-1457	幹事
昭和57年	林田尚之	600 520	京都市下京区四条高倉 (株)大丸京都店婦人服2階 大津市青山3丁目9-5	075-211-8111 0775-49-2346	
昭和57年	久保智之	530 577	大阪市北区堂島浜1-4-4 アクア堂島東館10F 第一企画(株)大阪支社 (自) 東大阪市森河内東2-21-18	06-346-0471 06-787-5680	
昭和57年	山本健也	601 520	京都市南区吉祥院中島町2-9 (株)ワコール国際事業部事業管理チーム (自) 大津市湖城ヶ丘6-33	075-682-1056 0775-27-5434	
昭和57年	松山厚志	103 255	東京都中央区日本橋室町2-2-1 東レ(株) (自) 神奈川県中郡大磯町高麗3-1-47	03-3245-5691 0463-35-0091	
昭和57年	永野巖	520-02 520-02	大津市仰木里1-23-1 北大津高校 (自) 大津市仰木の里1-6-3	0775-73-5881 0463-35-0091	
昭和57年	岡村恭明	740	(自) 岩国市昭和町2-15-10		
昭和58年	杉木英男	641	住友生命 (自) 和歌山市内原967-4 住友生命内原荘401	0734-46-0128	
昭和58年	小森進治	530 592	大阪市北区梅田1-11-4-1500 大阪駅前第4ビル15F (株)島精機製作所大阪支店 (自) 高石市西取石1-7-23 ウエストロード302号	06-344-0511 0722-63-8247	
昭和58年	和田学	465	大阪商船三井船舶(株) 名古屋市名東区一社4丁目123番 ハピネスハイツ401号	052-564-7003	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和58年	武田泰一	060 069	札幌市中央区北1条西3丁目-2大和銀行札幌ビル5F ソニー生命保険株式会社第一営業所 (自) 北海道江別市野幌町15-13	011-242-2271 011-383-6056	
昭和58年	阿部和久	917	中日新聞小浜通信局 福井県小浜市大手町4-17	0770-52-0137	
昭和58年	松田弘一	600 520-02	京都市下京区四条通高倉 (株) 大丸京都店人事部 (自) 大津市堅田1-2-74	075-211-8111 0775-73-7549	
昭和58年	田中秀昭	330 336	大宮市中町3-13-1 住友生命大宮第二ビル (株) 東陶機器 大宮営業所 (自) 浦和市南浦和3-9-25	048-642-1001 048-887-4615	
昭和58年	高山一也	277 352	板橋区板橋2-65-8 (株) 星光堂5F 洋盤部 (自) 埼玉県新座市東北2-3-6 レジデンス神谷505号	03-3579-5294 048-487-5770 033-274-1556	
昭和58年	吉田寛伸	104 320	東京都中央区八重洲2-3-14 京セラ半導体部品営業 (自) 宇都宮市豊郷台2-74-1	0286-43-8585	
昭和58年	明石逸二	743 745	山口県光市三井1-7-20 親和紙器(株) (自) 山口県徳山市桜馬場通3-20-606	0833-71-0020 0834-31-6063	年度代表
昭和58年	貝賀俊之	652 651-22	神戸市兵庫区和田崎町1-1-2 三菱電機(株) 制御製作所 (自) 神戸市西区美賀多台6丁目3番地の2-5-103	078-652-2121 内線2982 078-992-2709	
昭和59年	米村康弘	862 862	熊本市画団町下江津3 熊本ファミリー銀行 水前寺支店 (自) 熊本市水前寺公園1-26	096-383-3177 096-379-0225	
昭和59年	松村勲	167	アメリカ留学 (自) 東京都杉並区南荻窓1-42-8 第一都ガーデンハウス1-3	03-3333-2185	
昭和59年	河南潤治	750 260	下関市豊前田町2-8-10 安田火災海上(株) (自) 千葉市中央区都町1-49-5-207	0832-32-0090 043-234-7671	
昭和59年	谷口幸一	103 220	東京都中央区日本橋室町2-2-1 東レビル 東レ(株) 東京本社 製品事業部特需課 (自) 横浜市西区浅間台91-1 東レ横浜社宅B-308	03-3245-5386 045-324-1986	
昭和59年	前谷浩	692 683	安来市神田町756-1 足立ビル2F (株) 新日本海新聞社 安来支局 (自) 米子市彦名町70-3 県営住宅2-303	0854-23-1825 0859-29-8413	
昭和59年	作間秀樹	581 554	八尾市高町1-7-4 八尾高校 (自) 大阪市此花区春日出北1-9-21	0729-22-4261 ~2 06-468-3934	年度代表
昭和59年	松本収平	640 640	和歌山市中野39-2 松本タンス(自営) 和歌山市大谷845-15	0734-55-4968 0734-51-0955	
昭和60年	伊藤寛	150 225	東京都渋谷区南平台町16-25 養命酒ビル11F ティップネス事業部 (自) 横浜市青葉区荘田町116-1-101	03-3464-3532 045-913-4882	年度代表
昭和60年	小山一	796 796	八幡浜市新町3丁目 小山文具店(自営) (自) 八幡浜市新町3丁目	0894-24-3188 0894-24-3188	
昭和60年	石鍋寿久	113	(株)トヨタ自動車 (自) 東京都文京区駒込6丁目22-10-305	03-3893-7283 03-5395-5489	
昭和60年	矢野英明	160 228	東京都新宿区西新宿3-4-7 栗田工業(株) (自) 相模原市麻溝台8-18-80 サンモール相模202	03-3347-3111 0427-66-0641	
昭和60年	岸本伸司	665 663	宝塚市駒の町1-1 阪神競馬場 (自) 西宮市田近野町9-9 田近野社宅8-102	0798-51-7151 0798-54-8500	
昭和61年	川崎五代嗣	612 536	京都市伏見区羽束町3-2-2 (株) 大日本スクリーン電子機器事業本部洛西製造部 (自) 大阪市城東区鴨野西3-5-41 サンハイツ近江201号	075-931-7772 06-961-7496	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和61年	田中義力	471 446	豊田市トヨタ1番地 (株)トヨタ自動車 (自) 愛知県安城市池浦町池浦98-23 エスペランス池浦A-303	0565-23-2541 0566-77-7087	
昭和61年	今井智	253 392	茅ヶ崎市中海岸3-11-11 (株)シーアーワークス 諏訪市高島3-1345-3-101	0467-74-7766 0266-57-4799	
昭和61年	高下康治	100 154	東京都千代田区大手町1-6-1 (株)協和醸造 バイオプロダクツ事業部 (自) 東京都世田谷区若林3-5-9 若林寮	03-3282-0088 03-3412-2801	
昭和61年	松原久能	150 242	東京都渋谷区渋谷3-26-18 (株)不二サッシ東京支店 (自) 神奈川県大和市下鶴間2966-22 カーサリーカーロ	03-5458-7062 0462-77-7396	
昭和61年	磯田秀樹	520 520-21	大津市栗津町10-11 滋賀銀行本店事務集中部 (自) 滋賀県大津市瀬田1-23-6	0775-21-2460 0775-21-2453 0775-45-0938	
昭和61年	田中薰	531 573	大阪市大淀区大淀町南3-2-25 (株)スポーツニッポン新聞社写真部 (自) 枚方市渚南町44-10	06-458-5988 0720-98-7671	
昭和61年	谷川真司	141 112	東京都品川区西五反田6-12-1 (株)船井総合研究所 (自) 東京都文京区音羽1-14-18-401	03-5434-7658 03-3946-0280	
昭和61年	今井崇雄	272	(自) 大津市見世2丁目13-120		
昭和61年	中村俊裕				不明
昭和61年	安田智雄	544 586	大阪市生野区巽北1-16-21 安田鉄工(株) (自) 大阪府河内長野市自由ヶ丘1-1-302	06-751-4441 0721-56-6003	
昭和61年	安田克裕				不明
昭和62年	城生栄二	101 211	大阪市中央区北浜4-4-12 (株)住友商事紙パルプ (自) 尼崎市南塙口町2-24-1 ドヌールヒサ402	06-209-6766 06-429-5311	
昭和62年	奥谷勇人	541-01 545	大阪市中央区今橋3-5-12 日本生命本店 (自) 大阪市阿倍野区阪南町7-3-2 日生英風荘102	06-209-5721 06-606-0502	
昭和62年	高橋良明	107-77 275	東京都港区北青山2丁目5-1 伊藤忠商事(株)穀物部穀物第一課 (自) 千葉県習志野市津田沼6丁目1-20-308	03-3497-6044 0474-54-5214	
昭和62年	樋口健一郎	282 158	成田市三里塚御料牧場1-1 第一勧業銀行本店業務部外国為替業務グループ輸出課 (自) 東京都世田谷区等々力6-11-9グランドウール等々力404	0476-32-5771 03-3702-2917	
昭和62年	安田一郎	223 143	横浜市港北区綱島東4-3-1 松下通信工業電波事業部 (自) 東京都大田区大森中2-1-20-402	045-531-1231 03-3767-1543	
昭和62年	後藤嘉樹	683 689-35	米子市安倍183-1 (株)福間商事 (自) 鳥取県西伯郡日吉津村富吉105-3	0859-29-2101 0859-27-2659	
昭和62年	森川博有	919-13 919-13	福井県三方郡三方町中央1-2 三方町教育委員会 (自) 福井県三方郡三方町井崎58-22-66	0770-45-2222 0770-45-2147	
昭和62年	大沼弘幸	100 173	東京都千代田区1-8 (株)第2電電 (自) 東京都板橋区熊野町2-15-301	03-3221-9624 03-5966-7981	
昭和62年	屋久浩典	160 338	東京都新宿区西新宿6-14-1 新宿グリーンタワービル 24F 住友林業(株)住宅本部システム住宅開発部 (自) 埼玉県浦和市上大久保62-1 アーバンルミネ102	03-5322-6740 048-852-7764	
昭和62年	藤田哲哉	617 520	長岡市天神2-26-10 (株)村田製作所 (自) 滋賀県大津市柳川1-4-20 ハイツルピナス203号	075-951-9111 0775-21-8471	幹事

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
昭和62年	志賀理	602 569-11	京都市上京区烏丸通今出川東入 同志社大学商学部 (自)高槻市赤大路64-1-207	075-251-3723 0726-96-6636	
昭和63年	阿江克彦	679-02	(自)兵庫県加東郡滝野町下滝野591	0795-48-2105	年度代表
昭和63年	斎藤繁明	940 940-23	新潟県長岡市城内町3-7-13 千代田生命保険長岡南開発出張所 (自)新潟県三島郡三島町逆谷838	0258-32-0395 0258-42-3214	
昭和63年	佐藤亘	392 394	長野県諏訪市清水3-3663-3 諏訪実業高等学校 (自)岡谷市長池60-1 コーポハナオカA-104	0266-52-0359 0266-28-2671	
昭和63年	原一雅	656-01 656	兵庫県三原郡綠町広田552-1 イズミードマシナリー(株) (自)洲本市本町7-2-33	0799-45-1121 0799-22-1131	
昭和63年	平松靖之	520-21 520-21	大津市大將軍1-13-1 濑田北中学校 (自)大津市瀬田1-16-1	0775-43-2073 0775-45-0221	
昭和63年	星沢慎二	600 617	京都市下京区四条通高倉 (株)大丸京都店婦人服第1部 (自)京都府長岡市奥海印寺太鼓山46の48	075-211-8111 075-951-9702	
平成元年	関谷晴彦	456 454	名古屋市熱田区桜田町19-18 (株)東邦ガス (自)名古屋市中川区八家町3-8	052-872-9213 052-363-8282	年度代表
平成元年	末瀬雅巳	625	舞鶴市字余部下1190番地 海上自衛隊 第31護衛隊指令部	0773-62-2250	
平成元年	石田政隆	553 604	大阪市住之江区南港北1丁目12番 (株)ミズノ ミズノ株式会社 商品開発本部工業所有権室 (自)京都市中京区壬生坊城町66 セモア30-4 A	06-614-8295 075-801-4814	
平成元年	西田智明	540 520	大阪市中央区城見2-1-3 (株)松下電工 (自)大津市横木町1丁目11-3 コティ横木207号	06-908-1131 0775-22-7653	
平成元年	桜井昭子	154 154	東京都新宿区市ヶ谷5-1 陸上自衛隊市ヶ谷駐屯地 需給統制隊管理部会計課 (自)東京都世田谷区池尻1-2-15-306	03-3268-3111 (内)5664 03-5481-0913	
平成元年	井上周一	743 743	山口県光市島田3434、新日鉄光製鉄所 (自)山口県光市室種 沖田アパート1-35	0833-71-5068 0833-79-1512	
平成2年	朝倉伸二	163 210	東京都新宿区西新宿2-7-1 新宿第一生命ビル キャノン(株) (自)川崎市多摩区宿河原3-20-2 ザ・ド・シェル206	03-3348-2121 044-922-8463	
平成2年	石橋雅信	559 592	大阪市住之江区粉浜2-14-27 住友銀行 (自)高石市東羽衣5-18-1-138	06-672-0501 0722-62-4556	
平成2年	坂本龍一	144 156	東京都大田区羽田空港3-3-2 (株)日本航空B747-400 運航乗員部 (自)東京都世田谷区桜丘3-37-32-305	03-3426-1611 0144-82-5588	
平成2年	佐伯誠	059-09 059-09	北海道白老郡白老町大町2丁目3番17号 サン・ツーリスト (自)北海道白老郡白老町末広5丁目7-20	0144-85-2287 03-3837-6290	
平成2年	島田恭典	110 180	東京都台東区上野1-1-10 (株)三洋電機 (自)東京都武蔵野市緑町2-1-4 武蔵野三洋寮B-312	03-3837-6290 0422-37-6377	
平成2年	北村正樹 (旧姓内藤)	606	(自)京都市左京区岡崎天王町32-10	075-752-4195	
平成2年	西田利彦	500 520-32	Riverside Drivo NY, NY, 10027 USA 帰省先 滋賀県甲賀郡甲西町岩根3574	07487-2-2670	
平成2年	配川隆司	206 151	東京都多摩市唐木田3-1-1 (株)三菱銀行システム部 (自)東京都渋谷区大山町27-15 幅谷寮	0423-56-7526 03-3469-7446	

卒業年度	氏名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
平成2年	前田崇	634 633	檍原市白檍町1丁目26-14 西垣林業株式会社 (自)桜井市戒重137	07442-7-7027 07744-6-3800	
平成2年	米原栄一	652 655	兵庫県兵庫区和田崎町1-1-1 (株)三菱重工 (自)神戸市垂水区星陵台3-4-3-311号	078-672-5032 078-785-8629	
平成2年	川崎優子	158 210	東京都世田谷区多摩川3-17-1 (株)高島屋多摩川店 (自)神奈川県川崎市多摩区宿河原3-20-2 ザ・ド・シェル206	03-3709-3111 044-922-8463	
平成2年	喜多隆博	569	(自)高槻市津行江町1-47-17	0726-72-1160	
平成3年	乾健治	592 590	堺市甲斐町東1-1-8 (株)三和銀行堺支店 (自)堺市深井清水1347-1 グランソレイユ深井108	0722-23-5195 0722-61-5227	
平成3年	大竹宏	448 448	刈谷市昭和町1-1 日本電装(株) (自)刈谷市小山町3-18 第一小山寮1400号	0566-27-4572	
平成3年	岡田太一郎	253-01 860	神奈川県高座郡寒川町岡田6-4-6 ジャパンエナジー (自)熊本市横手5-4921 (実家)	0467-75-4965 096-355-5554	
平成3年	小原隆史	600	京都市下京区四条通高倉 (株)大丸京都店	075-211-8111 0775-27-3773	
平成3年	重松健一	939-26	富山県富山市奥田本町8番24号 (株)北陸インテック技研 (自)富山県婦負郡婦中町小長沢2385	0764-32-4602 0764-69-3354	
平成3年	榎原雅也	541 547	大阪市中央区本町3丁目5-7 御堂筋本町ビル5F (株)日立製作所 (自)大阪市平野区喜連4丁目8番2エトワール喜連102号	06-261-1111 06-704-8035	
平成3年	佐藤将人	700 700	岡山市磨屋町3-10 サントリー岡山支店 (自)岡山市出石町2-4-1 ニューメゾン502号	086-245-5781 086-232-2584	
平成3年	杉山伸	630 578	奈良県角振町35番地 (株)住友銀行奈良支店 (自)東大阪市花園東町2-15-4 住友銀行花園寮	0729-66-8216	
平成3年	津島泰	460 453	名古屋市中区錦1-2-1 三井海上火災保険(株) (自)名古屋市中村区岩塙本通3-5 第14高峰ビル614号	052-203-3041 052-413-9184	
平成3年	三上和彦	240 070	TAPPAN St. BROOKLINE MA. 02146USA 旭川市神居6条17丁目 (実家)	075-256-4001 0166-62-0533	
平成3年	山下進	790	(自)松山市余戸南4-9-28 FUTABA寮1-2	0879-72-9823	
平成3年	井上京子	532 533	大阪市淀川区西中島5-4-20 中央ビル 横河ヒューレットパッカード(株)西部支部第2営業部 (自)大阪市東淀川区東淡路1-5-4-725	06-304-6021 06-327-7436	
平成3年	中村祥子	602 560	京都市上京区烏丸今出川上ル西 京都YMCA (自)豊中市南桜塙1-6-13	075-441-2773 06-844-0482	
平成4年	宮崎寿春	520 520	大津市浜大津1-1-21 NTT(株)大津支店 (自)大津市竜ヶ丘24-15 NTT社宅111号	0775-21-2991 0775-27-1150	
平成4年	岡本竜人	104 211	東京都中央区新川2-31-1 新日鉄(株)エレクトロニクス情報通信事業部 産業システムソリューション部 (自)川崎市中原区上小田中5-9-1 新日鉄中原寮248号	03-5566-2133 0426-78-1187	
平成4年	谷昌二郎	763 763	香川県丸亀市蓬莱町8番地 (自)香川県丸亀市新浜町2-6-1 三菱電機蓬莱会館B-306	0877-24-0557 0877-24-8231	
平成4年	小林重之	104 270-13	東京都中央区京橋1-1-1 八重洲ダイビル 三菱エンジニアリングプラスチック(株) 営業部 (自)千葉県印旛郡印西町小林浅間2丁目1-1-243	03-3278-5814 0476-97-3874	

卒業年度	氏 名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
平成4年	下田 亨	450 450	名古屋市中村区那古野1-47-1 国際センタービル13F (株)大広名古屋支社 (自)名古屋市中区富士見町5-23 ライオンズマンション上前津1003号	052-564-8113 052-332-2993	
平成4年	小田切 拓	156	(自)千葉県市川市菅野1-25-10	0473-23-3256	
平成4年	加藤 康	602	同志社大学院 (自)京都市寺ノ内通西入ル下ル真倉町740 米山方	075-414-2247	
平成4年	功力 英俊	030 030	青森県青森市桜川7-15-31 味の素(株) (自)青森県青森市中央4丁目1-20 サンシャインヴィラII-205	0177-35-7599 0177-42-1493	
平成4年	小林 俊樹	480-11 465	愛知県愛知郡長久手町大字長湫字菖蒲池18 (自)名古屋市名東区照ヶ丘36 ユウビル406	0561-63-1511 052-775-7975	
平成4年	鷲本 貴夫	101 211	東京都千代田区神田1-6-6 三菱銀行岩本町支店 (自)川崎市中原区今井町242 三菱銀行川崎今井寮22	03-3865-8201 044-744-2140	
平成4年	勝本 肇	559 634	大阪市住之江区新北島1-3-11 大阪府警第二機動隊 (自)樋原市東坊城町207	06-685-7781 07442-7-0893	
平成4年	吉田 武史	160 164	東京都新宿区新宿6丁目28-1 日清食品(株)東京本社 (自)東京都中野区東中野5-20-2 リバーサイド東中野401号	03-3205-5189 03-3360-7323	
平成4年	吉田 拓生	850 852	長崎市万才町4-15 日本生命長崎ビル新館 富士通(株)長崎支店 (自)長崎市橋口町15-11 アメニティハウツ308号	0958-48-9419	
平成4年	米山 尚吾	602	大阪市中央区本町3-5-7 御堂筋本町ビル3F (株)日立製作所 流通情報システム営業部 (自)大阪府池田市天神2丁目5-1日立製作所石橋寮411号	06-263-7293	
平成5年	宇戸 大輔	100 164	東京都千代田区有楽町1-12-1 旭硝子(株)東京支店 (自)横浜市鶴見区鶴見中央2-5-12 ソレイユ鶴見中央701号	03-3283-9480 045-504-0118	
平成5年	内田 琢也	100 353	東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー17F (自)埼玉県志木市幸町1-8-54 ハイツリバーアイランド402号	03-5463-0134 048-487-3470	
平成5年	原田 昌彦	652	兵庫県市町村職員共済組合 (自)神戸市兵庫区上沢通り7-5-2-501	078-321-0602 078-531-9198	
平成5年	井上 賢二	862 862	熊本市渡鹿4丁目2番1号 熊本県警察学校 (自)熊本市花丘5-5-77	096-364-2747 096-365-2600	
平成6年	押領司 哲也	611 612	宇治市槇島町千足80 京都文教大学学生課 (自)京都市伏見区向島津田町2番地 ミリオンマンション2-B	0774-25-2497 075-603-6601	
平成6年	木内 良典	599-02	和泉市緑が丘66-8	0725-54-2892	
平成6年	喜多 栄太	649-72	(自)和歌山県伊都郡高野口町伏原403	0736-43-1217	
平成6年	竹内 秀暢	100-86 204	東京都千代田区丸の内2丁目6番3号 自動車鋼材部鋼板第2チーム (自)東京都清瀬市松山3-1-3 三菱商事寮240	03-3210-7680 0424-95-3664	
平成6年	中澤 郁男	492 492	愛知県稻沢市菱町一番地 三菱電機稻沢製作所 営業ビルシステム営業課 (自)愛知県稻沢市三菱電機稻沢製作所研修所内	0587-24-5519 0587-32-4600	
平成6年	中西 孝夫	545 631	大阪市阿倍野区長池町22-22 シャープ(株)海外事業本部テレビ営業部 (自)奈良市菖蒲池南7-853-3	06-625-3104 0742-48-6512	
平成6年	早坂 真一	639-11 577	奈良県大和郡山市南郡山町529-3 三和銀行大和郡山支店 (自)東大阪市上小阪2-5-26	07435-2-3301 06-721-1982	

卒業年度	氏 名	郵便番号	住所・勤務先及び連絡先	TEL	備考
平成6年	藤井 啓宏	489	(自)瀬戸市太子町131	0561-21-2090	
平成6年	堀内 昭宏	107-77 231	東京都港区北青山2-501 (株)伊藤忠商事東京リビング物流化 (自)神奈川県横浜市中区山元町5-219-151 (株)伊藤忠商事山手寮	03-3497-2278 045-663-6151	
平成6年	松城 敬	264	(自)千葉県千葉市若葉区小倉町1741-1 コンフォート小倉台 412号	043-234-7917	
平成6年	北尾 冬子	600 616	京都市下京区四条通東洞院東入ル日生ビル 宝酒造(株) (自)京都市右京区竜安寺五反田町10-12	075-241-5145 075-464-9263	
平成6年	田村 麻理子	604 520-21	京都市中京区烏丸通丸太町下ル西側 クリスタルプラザM 6F 京都総合法律事務所 (自)大津市一里山2-26-17	075-256-2560 0775-45-6112	
平成6年	堀智子	520 520	大津市御陵町3-1 社団法人大津市観光協会 (自)大津市高砂町20-17	0775-28-2772 0775-22-3413	
平成6年	余谷 有紀枝	140 156	東京都品川区東品川2-3-14 シティコープセンタービル シティバンクNA (自)東京都世田谷区宮坂3-41-8 ドリームイサオ201	043-234-7917	
平成7年	伊藤 崇	492 492	愛知県稻沢市菱町1番地 三菱電機稻沢製作所 研修センター (自)愛知県稻沢市菱町1番地 研修センター内	0587-24-5521 0587-32-4600	
平成7年	金咲 越郎	631	(自)奈良市西登美ヶ丘5-1-17	0742-46-9619	
平成7年	小吹 悟	260 272	千葉市中央区富士見2-20-1 日本生命千葉支社 (自)市川市市川南3-14-30 日本生命市川寮314	043-227-3364 0473-26-3442	
平成7年	古山 裕基	661	(自)兵庫県尼崎市塚口町2-11-5	06-421-4151	
平成7年	佐伯 明	799-04 799-01	愛媛県伊予三島市紙屋町2-60 大王製紙四国本社 (自)愛媛県川之江市川之江町2928-3	0896-23-3300 0896-56-5385	
平成7年	西村 泰隆	105 225	東京都港区虎ノ門2-1-1 (株)大阪商船三井船舶 (自)横浜市青葉区美しが丘2-9-1 大阪商船三井船舶田園多摩寮	03-3587-7643 045-903-7525	
平成7年	藤牧 宏彰	394 393	岡谷市天竜町3-9-1 丸登電業 (自)長野県諏訪郡下諏訪町清水町4555-94	0266-23-4833 0266-27-1323	
平成7年	森田 徳教	520-21 520-21	滋賀県大津市瀬田1-1-1 三洋電機経理部 (自)滋賀県大津市瀬田1-1-2 滋賀三洋寮306	0775-43-5602 0775-48-9969	
平成7年	大西 直子	600 564	京都市下京区四条高倉 (株)大丸京都店 (自)吹田市千里丘中34 千里マンションB218	075-241-6966 06-875-7755	
平成7年	加藤 文穂	430 473-12	浜松市旭町11-1 プレスター12F (株)アルモニコス (自)静岡県磐田郡福田町5154	053-459-1000 0538-55-2626	
平成7年	二瓶 伸子	438 438	静岡県磐田市新貝2500 (株)ヤマハ (自)静岡県磐田郡豊田町宮之一色1129	0538-32-1160 0538-34-6183	
平成7年	藤本 亜紀	541 614	大阪市中央区備後町2丁目2-1 大和銀行本店営業部 (自)京都府八幡市男山泉2-17	06-271-1221 075-971-0182	
平成7年	柏本 智香	558	(自)大阪市住吉区上住吉1丁目10-18	06-672-5733	

《現 役 名 簿》

役員名	氏 名	郵 便 号	住 所	T E L
部長	岡本博公	535	大阪市旭区新森4丁目6番16号	06-955-3633 研究室 075-251-3706
監督	高橋滋	520-21	大津市瀬田3-20-21	0775-45-6845
コーチ	宮崎寿春	520	大津市竜ヶ丘24-15 NTT社宅111号	0775-27-1150
〃	押領司哲也	612	京都市伏見区向島津田町2番地 ミリオンマンション2-E	

〈卒業生〉

氏 名	出身校	現 住 所 ・ 帰 省 先	T E L
岡本和彦 (商)	報徳学園	沖電機 (帰) 〒664 兵庫県伊丹市西台3-8-16 601	0727-75-1568
白田圭助 (経)	本郷	日本生命 (帰) 〒271 千葉県松戸市松戸新田3-11-206	0473-63-0619
川勝欣生 (商)	西乙訓	ニチメン (現) 〒617 長岡京市うぐいす台82	075-951-5014
木原聰 (法・法律)	同志社 香里	積水化学工業 (帰) 〒573-01 大阪府枚方市春日北町1-38-1	0720-58-3037
小林賢史 (商)	渋川	三和銀行 (帰) 〒370-36 群馬県北群馬郡吉岡町漆原1289-3	0279-54-2297
桝田由美子 (商)	同志社 女子	きんでん (帰) 〒611 宇治市南陵町2-2-4	0774-23-8858
押谷菊治 (経)	同志社 香里	(帰) 〒552 大阪市港区弁天3-14-5 東和シティコーブ502	06-573-7923
四家雄一郎 (経)	磐城	(現) 〒603 京都市北区紫野上築山町32 ハイツ翔雲306号 (帰) 〒971 福島県いわき市鹿島町米田字家の前19	075-414-7706 0246-29-7630
生水真理 (文・英文)	同志社 女子	(帰) 〒710 岡山県倉敷市新田3139-6	086-424-5366
高橋彩 (文・文化・文化史)	同志社 国際	宝酒造 (現) 〒520-21 大津市瀬田2-1-16	0775-43-6650
武田知也 (経)	富山東	日本興業銀行 (帰) 〒610-11 京都市西京区御陵大枝山町1-3-2	075-333-4602
漆迫博之 (経)	同志社 国際	(帰) 〒636 奈良県北葛城郡河合町高塚台2-34-8	0745-32-8498
山田寛幸 (経)	名古屋 市立向陽	北陸電力 (帰) 〒921 金沢市窪4丁目182-4	0762-44-1514

氏 名	出身校	現 住 所 ・ 帰 省 先	T E L
山川優 (法・法律)	天王寺	本田技研工業 (帰) 〒547 大阪市平野区流町1-1-3	06-708-8118
山中弘毅 (文・文化・文化史)	膳所	伊藤忠商事 (帰) 〒520 大津市朝日ヶ丘2丁目10-45	0775-25-7760
吉野光治 (法・政治)	比叡山	エッソ石油 (帰) 〒520-01 大津市坂本7丁目3-30	0775-79-4869
渡辺将常 (文・社会・産閥)	富士河口湖	日本团体生命 (帰) 〒403 山梨県富士吉田市旭3丁目14-4	0555-23-8781

〈現役部員〉

現役部員	氏名	出身校	現住所・帰省先	TEL
4回生	伊藤 浩史 (商)	岡谷南	(現) 〒602 京都市上京区堀川通寺ノ内上ル2丁目西入る 下ル天神町650 (帰) 〒391 長野県茅野市宮川7459-54	075-414-6511 0266-73-0231
4回生	奥哲史 (文・社・福祉)	池田	(現) 〒563-01 大阪府豊能郡能勢町下田尻277	0727-37-1243
4回生	斎木 英人 (工・機械工)	瀬戸西	(現) 〒611 宇治市広野町寺山14 広野荘36号 (帰) 〒489 愛知県瀬戸市八幡台7-151	0774-45-2312 0561-84-4335
4回生	梅野 孝雄 (法・法律)	同志社香里	(現) 〒614 八幡市橋本栗ヶ谷42-16	075-983-0879
4回生	岡 将行 (文・英文)	阿武野	(現) 〒569 大阪府高槻市川西町1-12-6	0726-83-8663
4回生	中園智英 (文・文化・心理)	同志社香里	(現) 〒618 大阪府三島郡島本町青葉1-15-22	075-961-5390
4回生	森本 周子 (法・法律)	同志社	(現) 〒554 大阪市此花区梅香3-30-22	06-463-5298
4回生	関根 佐和子 (法・法律)	同志社	(現) 〒631 奈良市神功一丁目4-73	0742-72-0528
4回生	尾島 綾子 (同女・英文)	米子東	(現) 〒612 京都市伏見区指物町506 (帰) 〒689-35 鳥取県米子市岡成281	075-601-3152 0859-27-1450
3回生	有馬 誠生 (法・法)	戸畠	(現) 〒610 京都市南区唐橋琵琶町28 双愛寮 (帰) 〒802 福岡県北九州市小倉北区霧ヶ丘2丁目15-10	075-662-5035 093-923-0907
3回生	石井 宏明 (法・法)	大阪貿易学院	(現) 〒576 大阪府交野市松塚35-16	0720-91-2880
3回生	石橋 欣也 (法・法)	川和	(現) 〒520-21 大津市瀬田3丁目2-30 (帰) 〒226 神奈川県横浜市緑区竹山2-2-4 2206-612	045-932-6131
3回生	岩田 勇人 (経)	澁	(現) 〒601 京都市南区唐橋琵琶町28 双愛寮205号 (帰) 〒507 岐阜県多治見市北丘町8-1-350	075-672-5679 0572-27-9385
3回生	岡前 秀彦 (文・社・社)	同志社香里	(現) 〒664 伊丹市山田松ノ内10-14	0727-85-2651
3回生	渋谷 一郎 (経)	高知追手前	(現) 〒560 豊中市宮山町4-16-19	06-845-9755
3回生	徐東駿 (商)	神戸	(現) 〒607 京都市山科区竹ノ街道町34 (帰) 〒651-22 神戸市西区春日台1丁目24の1	075-581-078-961-2254
3回生	高石 徹 (文・文化・文化史)	春日丘	(現) 〒567 大阪府茨木市白川3-1-8-304	0726-35-5929
3回生	高橋 功 (文・社会・産闘)	大谷	(現) 〒689-35 大津市瀬田3丁目20-21	0775-45-6845
3回生	竹野内 直毅 (商)	初芝富田林	(現) 〒586 河内長野市南花台4-4-8	0721-64-8843
3回生	土肥 康治 (工・物質化学)	膳所	(現) 〒520-05 滋賀県滋賀郡志賀町小野朝日2-13-1	0775-94-2344

現役部員	氏名	出身校	現住所・帰省先	TEL
3回生	内藤竜一 (文・社会・社福)	熊本学園 大付属	(現) 〒602 京都市上京区烏丸通今出川上ル一筋目西入ル 岡松町258-1 (帰) 〒862 熊本県熊本市江津1丁目436-2	096-362-0963
3回生	中原輝宣 (商)	洛南	(現) 〒611 京都府宇治市小倉町南浦15-17	0774-20-1600
3回生	古川顯生 (工・機械)	今治北	(現) 〒600 京都市下京区上之町15あかね荘 (帰) 〒799-22 愛媛県越智郡大西町宮脇甲1273-7	075-351-4213 0898-53-6153
3回生	山崎安雅 (商)	美方	(現) 〒601 京都市南区唐橋琵琶町28 双愛寮103号 (帰) 〒919-13 福井県三方郡三方町館川1-2-21	050-660-0450 0770-45-2589
3回生	襄川仁志 (文・社・社)	清風	(現) 〒590-05 大阪府泉南市新家216-38	0724-84-3762
3回生	和田大輔 (商)	奈良女子大付	(現) 〒573 枚方市北片鉢町12-22	0720-56-4585
3回生	植西理恵 (法・法)	同志社女子	(現) 〒520-21 滋賀県大津市月輪5丁目15-17	0775-43-2321
3回生	小田恭子 (文・国文)	同志社女子	(現) 〒617 京都府長岡京市神足2-3-3	075-951-6046
3回生	林田直子 (文・英文)	同志社	(現) 〒607 京都市山科区東野八反畠町58-3-506	075-581-9556
2回生	和泉智彦 (工・物質化学)	基町	(現) 〒610-03 京都府綾喜郡田辺町興戸南鋤立112 ユーゲント・マノワール506 (帰) 〒739-21 広島県東広島市高屋町稻木1524	0774-63-8125 0824-34-1702
2回生	坂口健 (商)	宇和島東	(現) 〒612 京都市伏見区向島 (帰) 〒798 愛媛県宇和島市大浦甲1771-46	0895-25-5689
2回生	玉置智雄 (商)	春日丘	(現) 〒567 大阪府茨木市耳原3-3-4-202	0726-43-1654
2回生	綱島雄一郎 (文・社・産闘)	同志社国際	(現) 〒631 奈良市松陽台4-3-8	0742-41-4078
2回生	寺田忠則 (文・英文)	同志社国際	(現) 〒535 大阪市旭区太子橋3丁目2-1-513	06-957-0173
2回生	牧之瀬 寛 (工・電気工)	清風	(現) 〒630-02 奈良県生駒市辻町25-34	07437-5-2831
2回生	石田あづさ (文・英文)	三島	(現) 〒569-11 大阪府高槻市安満東の町3-14	0726-85-2125
2回生	中島千尋 (文・英文)	南	(現) 〒551 大阪市大正区平尾1-9-9	06-553-8610

〈連絡先不明〉

卒業年度	氏名	29	富田 潤				
9 高商	今村 大三	31	奥田 茂				
10 高商	蜂須賀 文人	33	難波 孝也				
11 高商	水谷 伴治	33	木村 憲司				
15 大経	小杉 良平	34	川田 泰久				
15 高商	八木 茂	37	漆原 英定				
15 高商	吉津 孝甫	42	山口 隆史				
16 高商	西田 正大	51	佐藤 和弘				
16 高商	辻 昇						
16 高商	中野 靖夫						
17 大法	宮本 清						
18 大経	高橋 明						
18 高商	小山 隆						
19 高商	苅谷 芳郎						
21 大経	湊 修一						
22 大経	清原 清二						
22 経専	雨宮 清之						
24 経専	山本 信蔵						
24 経専	船木 重徳						
25 大英	西田 蔵						
27	藤森 慎治						

〈物故者名〉

卒業年度	氏名	14	遠藤 重順	4	太田 博	11	井上 金吾
大正5	河原 政勝	14	酒井 猛夫	4	猿丸 元	11	大橋 通三郎
5	京口 謙一郎	15	池尾 孝正	4	人見 健造	11	村上 敏道
5	塚本 純一	15	安井 義人	5	松居 清	11	森田 信雄
6	林 孝一	15	若村 直三	5	榎原 忠一	11	山辺 正
6	日下部 純吉	15	船瀬 博四郎	5	鈴木 淳蔵	11	川口 勝
7	西村 伍一郎	15	小池 勝	5	津田 清(礼作)	11	上田 正三
7	堀野 喜七	昭和2	武津 真佐太	5	田伏 徳次	12	大西 二三男
7	梅村 数之助	2	桜井 弥一郎	6	松岡 秀三	12	北川 寛一郎
8	青山 彦五郎	2	南本 虎一	6	壇上 春清	13	京谷 祐弘
8	松井 七郎	2	杉浦 良太郎	6	寺田 耕吉	13	初田 助太郎
8	関目 成通	2	西村 昌二	6	松下 勇	13	松島 誠
9	八木 重兵衛	2	荒木 節郎	6	増本 茂	14	青木 喜三
10	村井 藤十郎	3	元持 勝一	7	辻 武夫	14	楠(円尾) 紀
10	喜多 一二郎	3	東田 多喜男	7	神田 重太郎	14	寺田 英夫
10	北脇 鴻造	3	保土田 憲吉	7	川本 見悦	14	堀井
12	平瀬 四郎	3	北野 耕藏	8	飯田 正充	15	市谷 光之助
12	大崎 艇介	3	愛敬 元成	9	清田 博	15	山村 剛一
13	東辻 嘉三郎	3	武口 公一	9	河原 幸男	15	久世 一三
13	中川 孝史	3	市田 勇	9	岩城 利邦	15	水野
13	渡辺 勇	4	鮎川 浩	10	西尾 孝二	15	永島正(旧姓 佐々田)
14	黒川 俊夫	4	大谷 保	10	久木 弥一郎	15	牟田 博人
14	西条 信之	4	北村 國治郎	10	三村 茂	16	吉益 四郎

昭和16.	荒木 茂治	17	武田 喜蔵	19	佐野 新吾	30	赤塚 弘明
16	百合 実	18	宮川 正夫	20	坂 邦夫	32	小野木 利男
16	山本 善之助	18	加藤 勝彦	22	野々垣 明	33	八田 勇吉
16	吉川 久雄	19	太田 誠一郎	26	田中 清	33	石田
16	山本 恒夫	19	神野 理策	26	本間 満秋	36	村瀬 宗一
16	井上 謙藏	19	寺本 不二雄	29	辻井 耕三郎	37	金城 安則
16	増子 惣一	19	大林 一	29	勝山 實	39	山路 清

〈明治時代活躍された方々（順序不同）〉

福井 大三郎	林 源三郎	加藤 太郎松	岡本 桜	二宮 峰夫	小林 峰三
郡 淳	大石 七郎	塙沢 隆次郎	大原 隆男	浅野 源二郎	加藤 小太郎
牧野 虎次	三宅 駿一	近藤 賢二	梅沢 武一郎	古谷 久綱	高橋 彦三郎
八田 常吉	田島 虎衛	初田 利三郎	塙津 誠作	森 光太郎	清水 和三郎
都留 信郎	山川 均	石川 弘	卜部 八右衛門	鈴木 岡造	小野寺 寿雄
松井 万緑	山本 兵一	沢田 実	渡辺 節二郎	東 勝熊	ト部 京三郎
大塚 英雄	北脇 作次郎	大西 猪之助	井上 竹治	鈴木 吉満	榊原 哲文
石井 虎太郎	磯田 留三郎	町田 進一郎	中島 兼次	町田 甚太郎	吉田 清吉
松岡 一男	大林 政雄	芝 貞光	池本 甚平	山口 実	遠藤 英二郎
稻岡 三郎	小来 栄六郎	河上 英彦	小谷 益次郎	大原 隆美	八木 由三郎
斎崎 敏雄	北脇 春吉	弘中 康一	柏木 邦太郎	山根 基	森口 潔
山野 良吉	白井 秀吉	鴨脚 憲	小林 修亮	大橋 宗四郎	小路 虎二郎
神明 万次郎	山田 庄太郎	児島 重太郎	山中 平次	木安 望	杉本 正男
麦生 瞳郎	明田 重義	松島 寛三郎	津下 紋太郎	服部 勉一	平田 留造

〈歴代部長〉

速水 藤助	林 源三郎	黒川 芳造	平山 玄	和田 洋一	吉川 秀造
出石 邦保	中村 宏治				

編集後記

日頃、ご支援ご指導をいただいているボート部OBの方々、並びにボート部関係者の方々と現役部員の交流を深めるべく創刊致しました同志社大学ボート部年誌「力漕」も今回をもちまして第三号を迎えることができました。

過去の反省点や皆様からのご意見・ご感想を参考に、より充実した「力漕」の制作に取り組んで参りましたが、まだまだ内容や制作知識において不十分な点が多く、皆様にご迷惑をお掛けしました事をお詫び申し上げます。

最後になりましたが、今回の発行に際しまして、多大なるご理解・ご支援を頂きました諸先輩方々、各企業の方々、そして地元商店の方々に対し、厚く御礼申し上げます。

今後とも御支援・御指導の程宜しくお願い申し上げます。

同志社大学ボート部

広報担当

尾島 綾子
林田 直子

同志社大学ボート部部報「力漕」

1996年3月31日発行

発行者 同志社大学ボート部

〒520-21 滋賀県大津市瀬田3-2-30

(TEL)0775-45-0702

(FAX)0775-43-1194

広告費振込先：三和銀行 京都支店

普通預金口座番号 3962403

口座名 同志社大学ボート部「力漕」



株式会社 吉年

■ 営業品目

- △ 可鍛鋳鉄製品
- △ 印管継手
- パーライト可鍛鋳鉄
- スミコート継手
- ダクタイル鋳鉄製品
- Kコア継手、KWコア継手
- △ 鉄道車両部品
- △ ニップル
- 自動車部品
- スミニップル
- 産業機械部品
- 鋸物フランジ
- 碍子金具
- その他の継手

本社 〒586 大阪府羽衣内長野市上原町770番地 TEL(0721)53-3121㈹ FAX(0721)54-1814
東京営業所 〒103 東京都中央区日本橋3丁目3-4(3ビル3F) TEL(03)3273-7881㈹ FAX(03)3273-7880

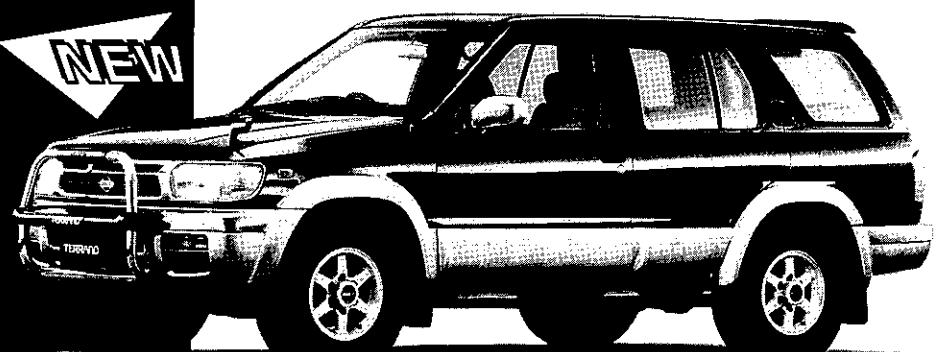
←4WD

NEW

新型テラノ誕生

TERRANO

これからのオフローダーのための新技術
(オールモード4×4(電子制御トルクスプリット4WD))を搭載。



ワイドR3m-R LIMITED

大阪日産自動車株式会社

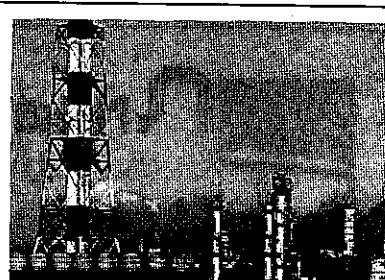
本社/大阪市福島区福島4丁目3番22号 TEL(06)446-2323(代表)



体力科学機器
**PHYSICAL
SCIENCE**



理科機器
SCIENCE



産業科学機器
**INDUSTRIAL
SCIENCE**

八神国際貿易株式会社 〒460 名古屋市中区丸の内三丁目2番29号
TEL(052)962-3811㈹ FAX(052)971-1398

YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO.,LTD.
HEAD OFFICE: NO.2-29, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN
YAGAMI TEL.(052)962-3811/FAX.(052)971-1398 / TLX.0444-7507 YAGAMI J
CABLE ADDRESS: "YRSCO", NAGOYA



近くて便利な

■ 南部自動車学校
☎ 0596-23-1155(代)

 オートザム伊勢
〒519-05 三重県度会郡小俣町元町1648-10
AUTOZAM TEL:0596-27-3236 FAX:0596-27-3706

大東自動車株式会社

 Nakabo Co., Ltd.
ナカボ一株式会社

代表取締役 社長 中島 俊一郎

本社：〒541 大阪市中央区淡路町3丁目6番14号
Tel.06-202-2555

◆赤川英株式会社

東京店／東京都千代田区三番街6-5 TEL 直通 (03)3265-2301代〒102
大阪本社／大阪市中央区南船場3丁目6-13 TEL (06) 252-3001代〒542
福岡店／福岡市博多区博多駅前1丁目11-27 TEL (092)451-1281代〒812
東京店／FAX (03)3237-8605 大阪本社／FAX (06)252-3564



日商エレクトロニクスは、世界160か所の情報ネットワークから先進のコンピュータ・テクノロジーをお届けしています。

 日商エレクトロニクス株式会社

〒104 東京都中央区築地7-3-1 Tel.03(3544)8311(代表)

本社＝東京、支店＝大阪・名古屋、営業所＝札幌・仙台・高崎・静岡・広島・福岡
米国現地法人＝カリフォルニア
東京証券取引所2部上場、米国商務省認定ハンド優良企業 従業員数752名、資本金66.4億円、売上高327億円

同志社大学（工学部電子工学科）、ボート部 昭和42年卒 桜田 東士



カード時代の商品券です。
プリペイドの大丸くじやくカード。



ショッピングのたびに、ご利用年月日と残額を裏面に表示、
小銭にわざわざされることなく、お買物が楽しめます。

●券種…3千円、5千円、1万円、3万円、5万円、10万円の6種類。

お求め・お問い合わせは **1階 商品券売場**



DAIMARU
大丸・四条烏丸
電話 (075)211-8111



株式会社

入江工務店

〒606 京都市左京区田中西大久保町46
TEL. (075)781-5703 FAX. (075)712-0025

代表取締役 **入 江 豊**
一級建築士

株式会社 王子製作所

船舶用機器部品・建設機械部品
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本 社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話 加古川 (0794)37-1600 代
FAX (0794)35-6181
丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地
電話 丸亀 (0877)28-7004
FAX (0877)28-5162



大久保自動車整備工場

大阪陸運局指定民間車検工場
自動車整備・钣金・塗装・販売・保険代理店

兵庫県加古郡播磨町新島23番地
電話 加古川 (0794)37-1221 代
FAX (0794)35-6181

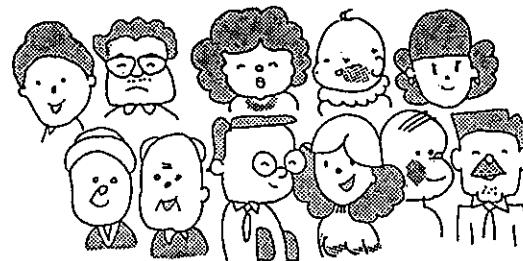
植西第三歯科医院

院長 植 西 正

大津市一里山一丁目14-43

☎ (0775) 45-8328

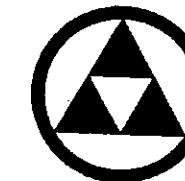
家族の幸せは健康から



くすり
化粧品  ハヤシダ

〒601-13 京都市伏見区石田森南町32-1 TEL 075-572-9300
クスリ

きものサロン



もりもと

大阪市此花区梅香3丁目30-22

電話 (06) 463-5298
ヨロズ ゴフクヤ

暮らしの中に、
心和ます、京の庭

特定建設業許可番号(特-3)第17252号

石豊造園土木株式会社

代表取締役 田中 安太郎
京都府久世郡久御山町中島20
☎ (075) 631-6959(代)
FAX (075) 632-1212



Living space created to gently encircle the people.

A graceful form that reminds one of the old good English traditions. True status remains uninfluenced by the flow of time. High quality homes have been pursued allowing the natural surrounding to come alive in full. Our finding was the "GEORGIAN HOMES"

(株) ジョージアン ホームズ

〒689-35 鳥取県米子市熊党201-2
Phone (0859) 27-1543(代)

WOOD LIVES

「木」を愛し、「木」を活かす

—OMIZOが誇る工業技術。



OMIZO

大溝工業株式会社

代表取締役 阪田 良之助

木材製品、新建材、製造販売
一般建築業(建築・大工・内装仕上工事)
宅地建物取引業

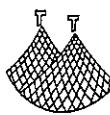
本 社 滋賀県高島郡高島町大字勝野
(〒520-11)
TEL 0740-38-0030(代)
FAX 0740-38-1213

〈贊助〉

佐野潤一 (S35卒)

北村自転車店

政府登録国際観光旅館



びわ湖瀬田川畔

あみ舟
元祖 あみ定

あみ定



大津市唐橋町 23-1
TEL (0775) 37-1780(代)
FAX (0775) 37-1791

喫茶
アドリア

湖岸道路唐橋下ル
TEL (0775) 37-1439

割烹料理・お食事処

万里也

〒520 大津市石山栄町2-4
Phone (0775) 37-0523

●営業時間／正午より ●定休日／月曜日 ●駐車場完備
カフェレストラン アドリア 湖岸道路瀬田唐橋西詰下ル
でんわ (0775) 37-1439

(有)野口山陽堂

加藤内科胃腸科

院長 加藤三郎

診療時間 午前9:00~12:00

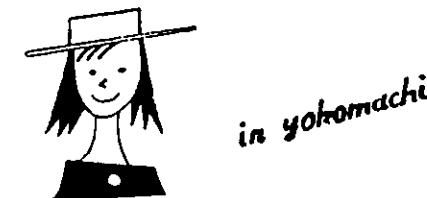
午後5:00~8:00

休診水・土曜午後、日曜、祝日

大津市神領二丁目39-3
(近郊大社東側)

TEL (0775) 45-8810

お気に入りのヘアスタイルを
いつまでも
ご来店ありがとうございます。



カットルーム

TANBA

営業時間 AM8:30~PM7:00

定休日 毎週月曜日・第1火曜日

・第3日曜日

大津市瀬田1丁目16-8

瀬田商店街

スーパーハッピー瀬田近く

TEL(0775) 45-0226



京阪シルク株式会社

代表取締役

新井 喜範

京都市下京区五条通西洞院東入
電話 075-351-2340 (円600)
FAX 075-351-4352

石本メリヤス株式会社

代表取締役 石本君夫

〒553 大阪市福島区野田2丁目21番13号
TEL (06) 462-3901番
461-0902番
FAX (06) 462-3902番

倉敷ビバリー テニスクラブ
倉敷市大島369 ☎ (086) 425-0525

くんせい工房・楠戸
倉敷市羽島733-7 ☎ (086) 422-7198

楠戸 俊宣
S 49 文卒

日本酒とビール・
ウイスキーの店

北井酒店

瀬田商店街

☎ 0120-45-2113

FAX 43-0220

TaKaRa

「T-70かほり酵母^{*}」が醸しだす

清酒のあたらしい品質です。



※特許出願中
歡びの詩

お酒は20歳を過ぎてから。
宝酒造株式会社

▲新発売



かほりが誘う。
よろこびを誘う。

飲むこと、
すなわち、
よろこびさ。

